

棧橋ニハ各々倉庫ヲ供ヘ鐵道ハ之レニ沿フテ設ケラレ直チニ「パース」市及ヒ内地ニ通セリ港外ノ「ゲーヂ

ロード」ハ錨地トシテ不良ニシテ永ク錨泊スヘキ所ナラス
右ノ如ク設備セラレアルモ近年船舶ノ出入貿易ノ増加商貨ノ輻輳ハ益々其狹隘ヲ訴ヘ茲ニ當商業會議所ハ

其主權者トシテ港内ノ擴張策ヲ講シ更ニ南方數哩ヲ距テシ「クック」バーンサウンド」ニ築港ヲ施シテ之レヲ
補充セン事ヲ企テ政府ト交渉中ナルカ如ク其成否如何ハ伺フ能ハス

港内ニハ乾船渠ノ存在ナク嘗テ之レカ築造ニ着手セシモ地面不良ノ爲メ中止セシコトアリト云フ
「報時球」港務部屋上ニアリ濠洲西部標準時東經百二十度ノ平時ヲ報シ午後零時五十七分全揚シ同一時ニ

落下ス但日曜祭日ハ之レヲ行ハス又誤報セシ時ハ球ハ徐々トシテ半下シ茲ニ一分時停止シ更ニ頂上ニ上リ
テ一分時ヲ經テ落下ス又若シ平素球ノ落下速度遅キニ失セルトキハ誤報ト知ルヘシ

「無線電信局」ハ數哩ヲ距テタル「アツブルクロス」ニアリ
「諸稅料金等」各國軍艦及ヒ英國政府所屬船舶ニシテ商業ニ從事セサルモノハ一切課稅セス

水先所ヨリ「ゲーヂロード」迄
汽船 三片
帆船 四片
各種船舶共ニ二噸
登簿噸數一噸毎ニ
但最下限二噸十志最大限二十一噸
但最下限二噸十志最大限十五噸

「ゲーヂロード」ヨリ港内迄
港内ニ於ケル轉錨
一回二磅宛

水先所バ「ロットネスト」島「バサースト」崎ノ東方五哩ノ所ニアリ水先船ハ水先旗トシテ大形ノ上半白色下
半赤色ノ旗ヲ掲揚ス

「噸稅」遠洋航船ニシテ登簿噸數ノ四分ノ一以上ニ相當スル貨物ヲ積卸スル時ハ登簿噸數各一噸毎ニ三
片、若シ四分ノ一以下ノ陸揚積込ミナル場合ニハ其荷物各一噸毎ニ三片近海航路船舶及ヒ避難船舶等ニ對

シテハ各規定ヲ別ニスル稅率アリ
「港稅」遠洋航船積卸各一噸毎ニ二片(但シ最初ノ二千四百噸迄ニシテ其以上ハ一片宛)最大限三磅、内航
船ニ對シテハ各稅率ヲ異ニセルモ之レヲ省ク

石炭ノ積卸ニ對シテ棧橋又ハ浮標繫留ノ時ハ一噸毎ニ二片ナレトモ其他ノ場合ニハ不要トス此他棧橋料荷
役料等ニ至リテハ各種ノ荷物ニ類別シテ規定ノ存スルアルモ茲ニ之レヲ省ク

「石炭」英炭ニシテ一噸時價二十五志六片炭質良好ニシテ本船ハ「シドニー」總領事ノ紹介ニヨリ「マツク
レースマカルカン」會社ノ手ヲ經タリ搭載高二百五十三噸荷役時間約七時間

「淡水」供給充分ナレ共水質不良ニシテ罐水ニハ適スルモ飲用ニ適セス一噸代金三志
「海運」當洲ノ商業貿易ハ海上ニ待ツコト最トモ多ク從テ多數ノ船舶ヲ要シ多クノ良港ヲ要スルヤ言ヲ俟
タス而シテ濠洲西部ニアリテ現在ハ勿論將來ニ於テモ主要タルヘキハ當「フリーマントル」港ニ外ナラサル

ヘク近ク首都「パース」市ヲ控ヘ原料產地ハ鐵路ヲ以テ相通シ殊ニ濠洲貫通鐵道完成センカ歐洲印度地方ニ
對スル本大陸ノ門口トシテ振フヘケレハナリ然レトモ港灣ノ狹隘ナルト其設備ノ未タ充分ナラサルト及ヒ
近海ハ冬期天候ノ不良ナルカ爲メ船舶ノ出入困難ナルトハ當局者ノ注意セル所ナルカ如シ然レトモ其出入
船舶數貿易高等ハ前述ノ如ク西部ノ首位ヲ占メ左ノ年度調査表ニヨリテ之レヲ知ルニ足ルヘシ

寄港船舶線路ノ主ナルモノヲ擧クレハ
倫敦及ヒ當港間ニ於テ毎週「ビーオー」會社及ヒ「ワリエント」汽船會社之レニ從事シ歐洲、東洋及ヒ西
濠洲ノ諸港ニ通セリ

右ノ外四週間目ニ同様ノ航路ヲ取レル北獨「ロイド」會社及ヒ佛國「エムエム」會社アリ又ハ南阿諸港經由ノ
上倫敦ヨリ來リ更ニ「アルバニー」港ニ達スル「ホワイトスター」線アリ又西部濠洲汽船會社船ハ新嘉坡ヨリ

濠洲北部ノ諸港ヲ經テ當港ニ達ス此他内地沿岸航トシテハ數多ニシテ就中濠洲共同汽船航海會社「アデレ

一六七

西部濠洲諸港入港船隻數及噸數表

年別	一九一一年		一九一二年	
	隻數	噸數	隻數	噸數
フリーマントル	七六	二,七三,六九二	七六	二,七三,六九二
アルバニ	三六	一,二三,九六八	三六	一,二三,九六八
パンベリ	一六	二七,四五六	一六	二七,四五六
ゼラルト	一九	二四,九六〇	一九	二四,九六〇
ブルム	九	一四,二八三	九	一四,二八三
パッセル	四	五,三三三	四	五,三三三
エスペラン	三	七,二七七	三	七,二七七
ホーブ	九	二二,二九七	九	二二,二九七
他名	七	一,四四,〇〇〇	七	一,四四,〇〇〇
合計	一八	五,四〇八	一八	五,四〇八

次キニ千八百九十二年ヨリ千九百十一年ニ至ル間ノ當「フリーマントル」港ニ出入セル船舶隻數及噸數表ヲ示セハ

年別	一九一一年		一九一二年	
	隻數	噸數	隻數	噸數
フリーマントル	七六	二,七三,六九二	七六	二,七三,六九二
アルバニ	三六	一,二三,九六八	三六	一,二三,九六八
パンベリ	一六	二七,四五六	一六	二七,四五六
ゼラルト	一九	二四,九六〇	一九	二四,九六〇
ブルム	九	一四,二八三	九	一四,二八三
パッセル	四	五,三三三	四	五,三三三
エスペラン	三	七,二七七	三	七,二七七
ホーブ	九	二二,二九七	九	二二,二九七
他名	七	一,四四,〇〇〇	七	一,四四,〇〇〇
合計	一八	五,四〇八	一八	五,四〇八

次キニ一九〇三年ヨリ一九一二年ニ至ル十年間ニ於ケル西部濠洲各地ニ於ケル出入船舶ノ總隻數及ヒ噸數ヲ示セハ

年別	一九一一年		一九一二年	
	隻數	噸數	隻數	噸數
フリーマントル	七六	二,七三,六九二	七六	二,七三,六九二
アルバニ	三六	一,二三,九六八	三六	一,二三,九六八
パンベリ	一六	二七,四五六	一六	二七,四五六
ゼラルト	一九	二四,九六〇	一九	二四,九六〇
ブルム	九	一四,二八三	九	一四,二八三
パッセル	四	五,三三三	四	五,三三三
エスペラン	三	七,二七七	三	七,二七七
ホーブ	九	二二,二九七	九	二二,二九七
他名	七	一,四四,〇〇〇	七	一,四四,〇〇〇
合計	一八	五,四〇八	一八	五,四〇八

一	九	九	九	九
一	一	一	〇	〇
二	一	〇	九	八
年	年	年	年	年
五八	六五	七三	七八	七〇
一八一九四九二	二〇六七二八六	二三七二三〇三	二五五九六七〇	二六二七七七七
五九二	六五〇	七二六	七八二	七六五
一八二六八〇五	二〇五四一八九	二三七一三六〇	二五六六〇九〇	二六二四二二七

左ニ千九百十二年ニ於ケル西濠洲主要諸港ノ輸出入價格表ヲ示セハ

地名	輸入	輸出	計
フリスランド	八八五、七二九	六七五、四〇二	一五六、四三一
アムステルダム	二九六、九三九	二七四、五二二	五七、四一七
ゼラールト	一六二、二二八	二八〇、五五五	四四、二六三
バレンベリ	一〇三、四〇二	八二、二四四	九一、五五八
ブール	四六、三三〇	二三〇、一一八	二七六、三四八
コサット	七八、二六六	九三、四〇四	一〇一、一三〇
カーナル	一一、二〇四	八六、二二二	九七、四二六
ポルトヘット	六、四八五	二九、八一九	三六、三〇四
デラバ	二、九九二	五、四四四	五、四三六
ラベラ	二、八二二	八、九四一	八、一一九
エスベラ	二、九〇六	一七八	三、〇八四

ホーブ	四六八	四六二七	五、〇九五
イユーク	三八〇五	〇	三、八〇五
シヤーク	二二	一四、五三八	一四、五六二
ウンド	四五、八八〇	三、九四八	七七、八二八
ハラ	四、六七七	五、六五九	六二、二七六

左ニ千九百十二年ニ於ケル西部濠洲全部ニ於ケル輸出入品細目ニヨリ其價格ヲ示セハ

輸入品

品名	價格	品名	價格	品名	價格
貨幣及金銀	三二四、九	酒類、麥酒、葡萄酒	二八、七〇一	食糧	八二、四七〇
獸肉及魚肉	二八五、〇六二	煙草類	二五九、七〇二	鐵器類	一、〇〇三、七一〇
砂糖	二四七、七四九	シアン化物類	一四八、四四四	茶	一一三、二四八
被服及帽子、靴、綿布類	一、四一七、七二〇	彈藥類	一七三、一九四	石炭及コークス	一一三、九五六
材木、セメント、家具類	二八四、五二二	油類	一六七、七六六	紙及書籍	二三四、〇二二
化學品及ヒ藥品	一七三、七三三	諸機械類	九七、三三三	時計類	一四二、九八八
麥、麥粉、玉蜀黍、野菜類	二七七、九〇〇	果實、セリイ及ヒ	一九七、七六〇	全計	九、五五〇、四五七
其他雜品	一、六七六、八八四	羊、馬、豚類	二二五、四六四		

輸出品

品名	價格	品名	價格
金類	五、〇〇一、四一九	錫	三、二七〇
羊毛類	一、〇〇五、六六五	銅	六〇、六二七
材木	九〇、三九六	他ノ雜品	七九、七七八
革皮類	一八、〇四五	全計	五〇、五〇二
眞珠及同貝類	五二、六〇九		八九四、〇〇八
麥類	一〇〇、一四六		

「在留邦人」 「フリーマントル」 港在留者十餘名「バース」 市在留者三十餘名ニシテ多クハ勞働ニ従事シテ一家ノ經營ヲナセルモノ殆ントナシ 生糧品時價左ノ如シ

品名	數量	價格	品名	數量	價格
牛魚葱蒜茄	斤	五	雞蛋	打	一志
林類	斤	六	肉粉	斤	三志
茄類	斤	一	薯粉	噸	四志
茄類	斤	一	薯粉	噸	四志
茄類	斤	一	薯粉	噸	四志
茄類	斤	一	薯粉	噸	四志
茄類	斤	一	薯粉	噸	四志
茄類	斤	一	薯粉	噸	四志
茄類	斤	一	薯粉	噸	四志
茄類	斤	一	薯粉	噸	四志

第八次遠洋航海 復航自「リオマントル」港

月	日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣温	海温
五月	三日	南 三四・五三	西 一二・四三	不定	一四	不明	不明	北々東	四		九	
	四日	南 二六・五五	西 一〇・五三	南四二東	一五	正南	三	北微西	五		九	
	五日	南 二六・七五	西 一〇・九三	南六一東	一五	北一七西	三	正南	四		九	
	六日	南 二六・九五	西 一〇・九三	南七五東	一五	北一七西	三	正南	四		九	
	七日	南 二六・〇六	西 一〇・九三	南九二東	一五	北一七西	三	正南	四		九	
	八日	南 二六・〇六	西 一〇・九三	北六二東	一五	北一七西	三	正南	四		九	
	九日	南 二六・〇六	西 一〇・九三	北九二東	一五	北一七西	三	正南	四		九	
	十日	南 二六・〇六	西 一〇・九三	南一〇東	一五	不明	不明	北微北	三		九	
	十一日	南 三二・九半	西 三三・三	南一六四	一三	全	全	正東	四		九	
	十二日	南 三五・三半	西 三三・三	南四四	一三	全	全	正東	四		九	
	十三日	南 三五・三半	西 三三・三	正南	一三	全	全	正東	四		九	
	十四日	南 三五・三半	西 三三・三	南七一四	一三	全	全	南微東	六		九	
	十五日	南 三五・三半	西 三三・三	南一四四	一三	全	全	東微北	三		九	
	十六日	南 三七・〇	西 三四・五	南三五東	一三	北七七西	九	北微東	三		九	

六日	三元一六半	六五半	南五二東	一〇〇	全	全	正西	一	二元八	五	五
七日	三元一六半	五〇〇	南六六東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
八日	三元一六半	一〇八	南八九東	一〇〇	全	全	北西	一	二元七	五	五
九日	三元一六半	一〇三	南八五東	一〇〇	全	全	北西	一	二元七	五	五
十日	三元一六半	一〇五	南八七東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十一日	三元一六半	一〇六	南五七東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十二日	三元一六半	一〇七	北七〇東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十三日	三元一六半	一〇八	南四八東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十四日	三元一六半	一〇九	南七一東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十五日	三元一六半	一一〇	北七八東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十六日	三元一六半	一一一	北八〇東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十七日	三元一六半	一一二	南七六東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十八日	三元一六半	一一三	南七五東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
十九日	三元一六半	一一四	北六八東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
二十日	三元一六半	一一五	北七一東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
二十一日	三元一六半	一一六	北五三東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
二十二日	三元一六半	一一七	北八六東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
二十三日	三元一六半	一一八	北七一東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
二十四日	三元一六半	一一九	北六六東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五
二十五日	三元一六半	一二〇	北四三東	一〇〇	全	全	北西	一	二元九	五	五

一七五

十七日	三元一六半	三三半	南七八東	二五	南八四西	八	南西微南	五	三元〇	五	五
十八日	三元一六半	二元五	北六八東	二六	北四五西	六	南微東	五	三元〇	五	五
十九日	三元一六半	二元〇	北五四東	二七	南四六西	七	南東	六	三元〇	五	五
二十日	三元一六半	一元五	北二六東	二八	北三三西	八	南東	七	三元〇	五	五
二十一日	三元一六半	一元〇	北三七東	二九	北五八西	九	南東	八	三元〇	五	五
二十二日	三元一六半	一元五	北六五東	三〇	北四三西	一〇	正南	九	三元〇	五	五
二十三日	三元一六半	二元〇	南七六東	三一	不明	一一	西微南	一〇	三元〇	五	五
二十四日	三元一六半	二元五	北六四東	三二	全	一二	南東微東	一一	三元〇	五	五
二十五日	三元一六半	三元〇	北三二東	三三	全	一三	東微南	一二	三元〇	五	五
二十六日	三元一六半	三元五	正北	三四	全	一四	南西微西	一三	三元〇	五	五
二十七日	三元一六半	四元〇	北八六東	三五	北一二西	一五	南西	一四	三元〇	五	五
二十八日	三元一六半	四元五	北六八東	三六	北八西	一六	東北東	一五	三元〇	五	五
二十九日	三元一六半	五元〇	南二六東	三七	北七九西	一七	北微東	一六	三元〇	五	五
三十日	三元一六半	五元五	南五五東	三八	南一六西	一八	北微西	一七	三元〇	五	五
三十一日	三元一六半	六元〇	南五三東	三九	北四五東	一九	北西微北	一八	三元〇	五	五
一月一日	三元一六半	六元五	南六四東	四〇	北三三西	二〇	北西微北	一九	三元〇	五	五
二月一日	三元一六半	七元〇	南五三東	四一	北六三西	二一	北西微北	二〇	三元〇	五	五
二月二日	三元一六半	七元五	南一五東	四二	南三八東	二二	正南	二一	三元〇	五	五
二月三日	三元一六半	八元〇	南五八東	四三	不明	二三	北西微北	二二	三元〇	五	五
二月四日	三元一六半	八元五	南三六東	四四	全	二四	北西微北	二三	三元〇	五	五

一七四

「フリーマントル」港出帆ノ現状

日	出帆時刻	出帆方向	出帆人数	出帆船名	出帆船種	出帆船長	出帆船主
十六日	三九・三	南五八東	六	フリーマントル	客船	三九・三	フリーマントル
十七日	四〇・六	南六八東	一七	フリーマントル	客船	四〇・六	フリーマントル
十八日	四〇・四七半	南七八東	一五	フリーマントル	客船	四〇・四七半	フリーマントル
十九日	四〇・四半	北八七東	一五	フリーマントル	客船	四〇・四半	フリーマントル
二十日	四〇・〇半	北七九東	一四	フリーマントル	客船	四〇・〇半	フリーマントル
二十一日	三九・三	北五五東	一四	フリーマントル	客船	三九・三	フリーマントル
二十二日	三九・四	北四二東	一三	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
二十三日	三九・〇	北四八東	一三	フリーマントル	客船	三九・〇	フリーマントル
二十四日	三九・三半	北六三東	一三	フリーマントル	客船	三九・三半	フリーマントル
二十五日	三九・三半	北八二東	一四	フリーマントル	客船	三九・三半	フリーマントル
二十六日	三九・八	北八七東	一五	フリーマントル	客船	三九・八	フリーマントル
二十七日	四〇・三	北六四東	一七	フリーマントル	客船	四〇・三	フリーマントル
二十八日	四〇・三	北七一東	一七	フリーマントル	客船	四〇・三	フリーマントル
二十九日	三九・五八半	北七四東	一七	フリーマントル	客船	三九・五八半	フリーマントル
三十日	三九・三	北七四東	一七	フリーマントル	客船	三九・三	フリーマントル
三十一日	三九・八	北八八東	一七	フリーマントル	客船	三九・八	フリーマントル
八月一日	三九・一〇	北八一東	一七	フリーマントル	客船	三九・一〇	フリーマントル

日	出帆時刻	出帆方向	出帆人数	出帆船名	出帆船種	出帆船長	出帆船主
二十六日	三九・三	南六四東	一七	フリーマントル	客船	三九・三	フリーマントル
二十七日	三九・三	南七七東	一七	フリーマントル	客船	三九・三	フリーマントル
二十八日	三九・三	南六八東	一七	フリーマントル	客船	三九・三	フリーマントル
二十九日	三九・三半	南八七東	一七	フリーマントル	客船	三九・三半	フリーマントル
三十日	三九・五半	北四五東	一七	フリーマントル	客船	三九・五半	フリーマントル
三十一日	三九・五	北五四東	一七	フリーマントル	客船	三九・五	フリーマントル
八月一日	三九・五	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・五	フリーマントル
二日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
三日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
四日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
五日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
六日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
七日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
八日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
九日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
十日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
十一日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
十二日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
十三日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
十四日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル
十五日	三九・四	南八二東	一七	フリーマントル	客船	三九・四	フリーマントル

職員 十二名
 學生 百二十三名 但學生二名死亡
 備人 四十三名 但大工一名死亡
 計 百七十八名

吃 水 前部 十六呎五吋
 吃 水 後部 十九呎七吋
 吃 水 平均 十八呎
 排 水 差 三呎二吋
 排 水 量 三千五百九十噸
 「メタセスター」ノ高サ 三呎五吋
 飲料 水 二十三噸五

但以下壓艙水函ニ清水ヲ充タシアルヲ以テ之レヲ補フコトヲ得

フオアービークタンク	〇・四
第一バラストタンク	九二・七
第二同	一〇八・一
エンジンタンク	五〇・三
ボイラータンク	四七・〇
第一アフターディーブタンク	一四四・八
第二同	七一・四
アフタービークタンク	〇・六
計	五百十五噸三

石炭 石炭庫内 一四〇
 補充石炭庫内 一二〇 計二百六十噸
 糧食 三十九噸三

自濠洲「フリーマントル」港至蘭領「アムボイナ」港

八月二十三日 出港

午前十時卅七分拔錨出港ス水先人モリソン氏港口迄乗船ノ上指揮ス出入港共ニ特ニ水先料及ヒ諸港稅ヲ免セリ午後一時「ロットネスト」島「バザースト」燈臺ヲ距離三哩半ニテ並航シ針路ヲ北西(眞針路)ニ定ム日没前後ヨリ氣壓ノ下降スルコト著シク偏北北西ノ強風トナリ波浪之レニ伴フテ高シ即チ西方ニ轉針シテ陸岸ヲ遠カルコトニ勉メシカ夜半ニ至ルマテ天候頗ル弊惡ニシテ船體ノ掀翻セラル、コト甚シカリシカ二十四日午前一時頃ヨリ氣壓ノ上昇ト共ニ風位モ漸次西方ニ變轉セシカハ天候ノ回復確實ナルヲ以テ更ニ舊針路北西ニ復シテ航走セシモ僅カニ四哩ノ速力ヲ得ルニ過キサリキ而モ驟雨時々到レリ翌二十五日天明後モ風浪尙ホ高カリシカ正午過キヨリ稍々平靜ニ復歸セリ

八月二十七日 正午位置 (南緯 二十四度三十八分半 東經 百十度二十二分)

出港ノ當日ヨリ荒天ニ惱マサレシカ僅カニ一晝夜ヲ以テ天候ノ回復ヲ見タルハ幸福ナリシモ尙ホ長濤殊ニ高ク船體ヲ掀翻セシコト日没ノ交ニ及ヒシカ漸次跡ヲ絶チ頗ル平穩ノ海上ト化シヌ、多ク偏西ノ軟風ヲ見驟雨等殆ントナク北上スルニ從ヒ風殆ント止ミス海流ハ偏北ニシテ一晝夜ノ流程十哩ナリトス陸岸ヲ距ルコト八十哩乃至百哩ヲ以テ通航セシカ故ニ海陸軟風ノ影響モ多カラサリキ氣温モ日々上昇シテ本日正午ニ於テハ六十五度ヲ示セリ
 二十六日午後四時船ヲ回轉シテ原基羅針盤自差ヲ測定ス

二十七日午前九時南緯二十五度十分東經百十度二十三分ニ於テ汽走ヲ止メ帆走ニ移ル偏西ノ和風アリ速力三浬

八月二十九日 正午位置 (南緯 二十二度 五十分 東經 百十二度 二十六分)

展帆時ヨリ風向ハ漸次西方ヨリ南西トナリ更ニ南ヲ經テ本日ハ南東風トナレリ風力モ漸次加勢シテ三、四ヨリ五乃至六ニ達セリ天候良好ニシテ快晴ナルモ海上稍々波浪アリ濠洲北西角ヲ距離八十浬ヲ以テ迂回シ北東(眞針路)ニ航走シ「ラムバイ」航門ニ直航セントス氣温六十九度偏北ノ海流一晝夜ニ平均十數浬宛アリ

八月三十一日 正午位置 (南緯 十七度 二十五分 東經 百十四度 五十三分)

偏東ノ疾風アリ天候良好ナレトモ風威殊ニ強ク波浪又之レニ伴フ蓋シ南東季候風ノ吹來ニ外ナラス天長節遙拜式モ風力増勢ニ備ヘテ之レヲ行ハス各員謹ンテ聖壽ノ萬歳ヲ奉祝セリ

九月三日 正午位置 (南緯 十二度 二分 東經 百十五度 二分)

連吹セシ南東季候風ハ漸ク左旋シテ東微南トナリ爲メニ目的ノ航門「ラムバイ」ニ直航スルコト能ハサルヲ以テ更ニ其西方ニ位スル「ロムボク」航門ヲ遡航シテ「スムバワ」、「フロレス」諸列島ノ北側ヲ東航シテ「ラムボイナ」港ニ向ハントス風力平均四乃至五波浪強テ高カラス多クハ快晴ニシテ大氣比較的乾燥セルヲ見ル驟雨等更ニナシ毎日北流海流十餘浬アリテ氣壓整然タリ

九月四日 正午位置 (南緯 十四度 四十八分 東經 百十四度 四十八分)

連吹ノ季候風ハ東南東トナリ風力五天氣快晴ナリ「ロムボク」航門ヲ距ル南百餘浬ニ達セシニ海流急變シテ偏南西流ト化シ速力約一浬半ヲ示セリ蓋シ同航門及其左右諸航門ヨリ來ル海流ノ影響ナルヘク水路誌

ニ記セルモノト略ホ其軌ヲ同フセリ午後四時十五分南緯十度十五分東經百十四度五十三分ノ地點ニ於テ帆走ヲ止メテ汽走ニ移リ目的ノ航門ニ直航ス

九月五日 午前七時朝霞ノ間ニ「ロムボク」航門南口ノ一島「ベンダ」ヲ左舷前方二點ニ望ム前夜來偏南西流約十浬ノ影響ヲ受ケシモノトス午前十一時三十分同島東側ヲ並航シテ「ロムボク」航門ニ入レリ入口ニ近ツクニ從ヒ逆潮ノ激奔著シキヲ見シモ南東ノ順風強吹セシヲ以テ總帆ヲ展シテ汽力ヲ助ケ船漸次航門ニ進入スルニ從ヒ稍々靜穩ニ歸シ平均五浬ノ速力ヲ保チテ通過スルコトヲ得タリ午後四時三十七分全ク遡航シ盡シ更ニ午後七時十六分轉針シテ眞東トナシ列島ノ北側ニ沿フテ航走セリ航門航過後風風キ海上平穩ニシテ只暮霞ニ閉チラル、コト多カリキ

同水門ハ南東季候風時(四月ヨリ)ニハ海流南流シ北西季候風時(十月ヨリ)ニハ北流スルモノニシテ其ノ最快速力四浬ニ達スルコトアリト云フ恰モ今回ハ南東季候風ノ末期ニシテ滿潮時ニ航門ニ進入セシカ門口ニ於テノミ強勢ナル逆流ヲ認メシモ内方ニ於テハ流勢幾分衰へ更ニ北口ニ於テ逆潮多少加勢シタルヲ見タリ殊ニ航門ノ東側ニ進路ヲ採リシモノトス沿岸故障物ナク目的物又充分ニシテ通航強テ困難ナラス

九月六日 午前十時「フラット」島ノ北側ヲ並行ス極メテ低島ニシテ夜間ハ認識困難ナルヘシ「アラス」航門ノ北口通航時ニ其南潮流ノ爲メニ南方ニ壓流セラル、コト約十浬ヲ見タリ
午後五時十分「バキジャガン」崎ヲ距離五浬ニテ並行シ「ビマ」港口ニ直行ス本日正午前ヨリ俄然偏東北東ノ海軟風ノ吹來アリシカ極メテ強勢ニシテ風力六、波浪又高カリキ日沒後漸次治マリヌ
九月七日 午前十時三分「スムバワ」島「ビマ」灣ニ投錨ス水深十三尋

- 「コロ」山 北四十八度東(磁針)
- 「ドロロンダ」山 南十七度東(同)
- 「カンビンダ」島 南三十七度西(同)

全航海日數 底質 砂泥 錨鎖六十尋
 全航程 十四日二十三時三十分
 一千八百二十七哩

帆走時間

帆走時間 八日七時五十七分

同距離 九百五十四哩

一日平均航程 百十四哩五

一時間平均速力 四哩七七

汽走時間 六日十五時三十三分

同距離 八百七十三哩

一日平均航程 百三十一哩三

一時間平均速力 五哩四七

九月七日 投錨後間モナク當港和蘭官憲吏員三名來船ノ上來意及船内健康状態ヲ質シテ去ル午後一時ヨリ

夕刻マテ學生及ヒ下級船員ノ上陸散步ヲ許可ス

九月八日 船長ハ當地官憲ノ向キへ挨拶ノ爲メ訪問ス

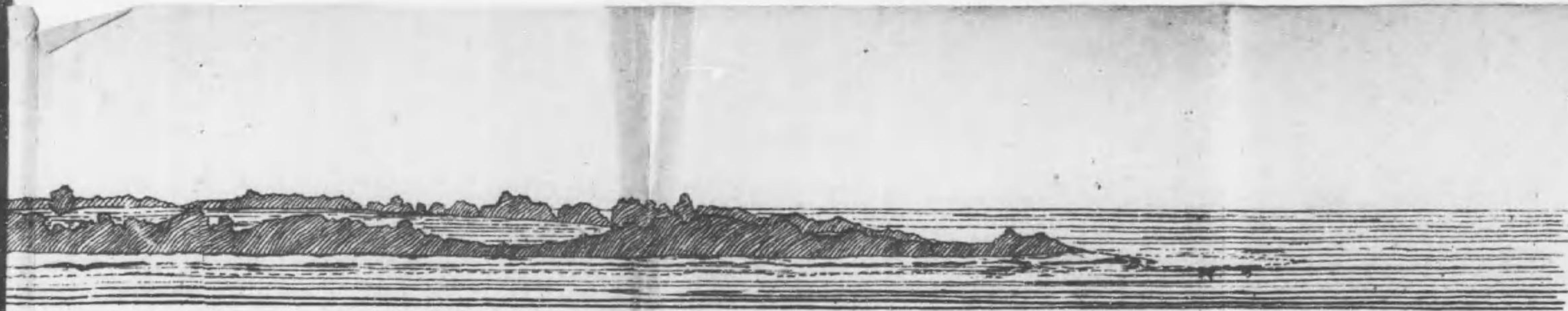
學生、下級船員交代ヲ以テ上陸散步セシム

九月九日 出港

午後二時十五分拔錨出港シテ「アムボイナ」港ニ向フ午後八時三十分「ガナムグ」島ヲ迂回シテ其北側ニ出

テ轉針シテ「ルツサリグツテ」島ニ直航ス

九月十日 午後九時四十五分「ルツサリグツテ」島ノ北側ヲ並行シテ「コンバ」島ニ直航セリ



Tenaralo
(TRUE) East 5 miles

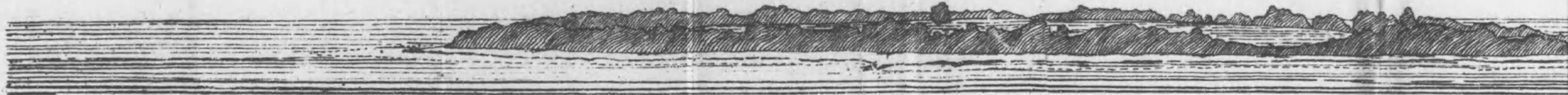


Vahanga
(TRUE) S^W 7 miles



Tenarunga
(TRUE) S^E 5 miles





Tenalo
(True) East 5 miles



Vahanga
(True) S^W 7 miles



Tenaluaga
(True) S^E 5 miles

IST

No. 1



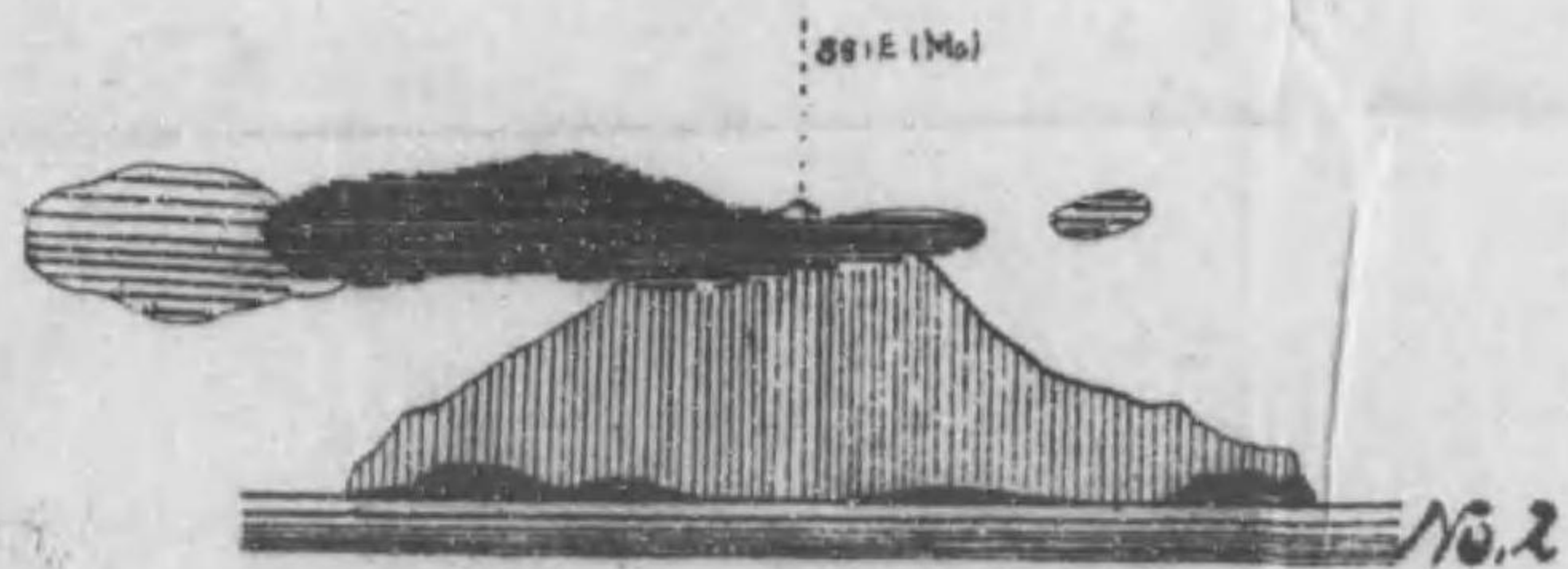
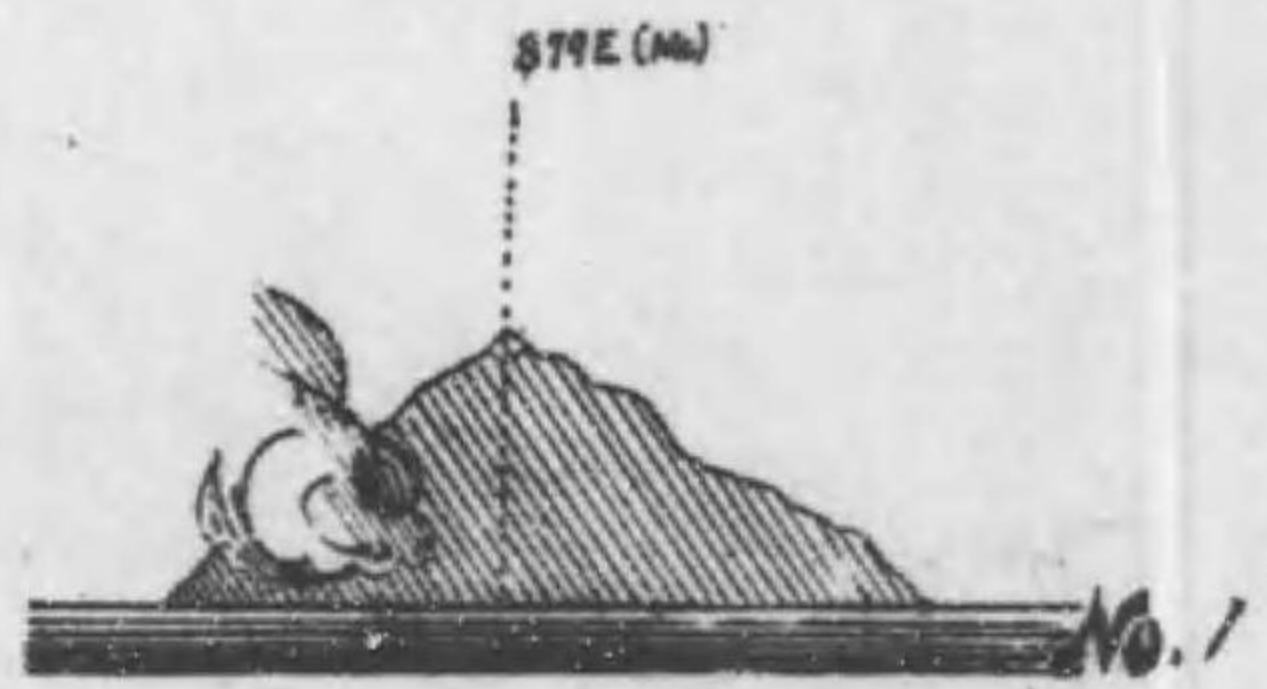
AM) 3112



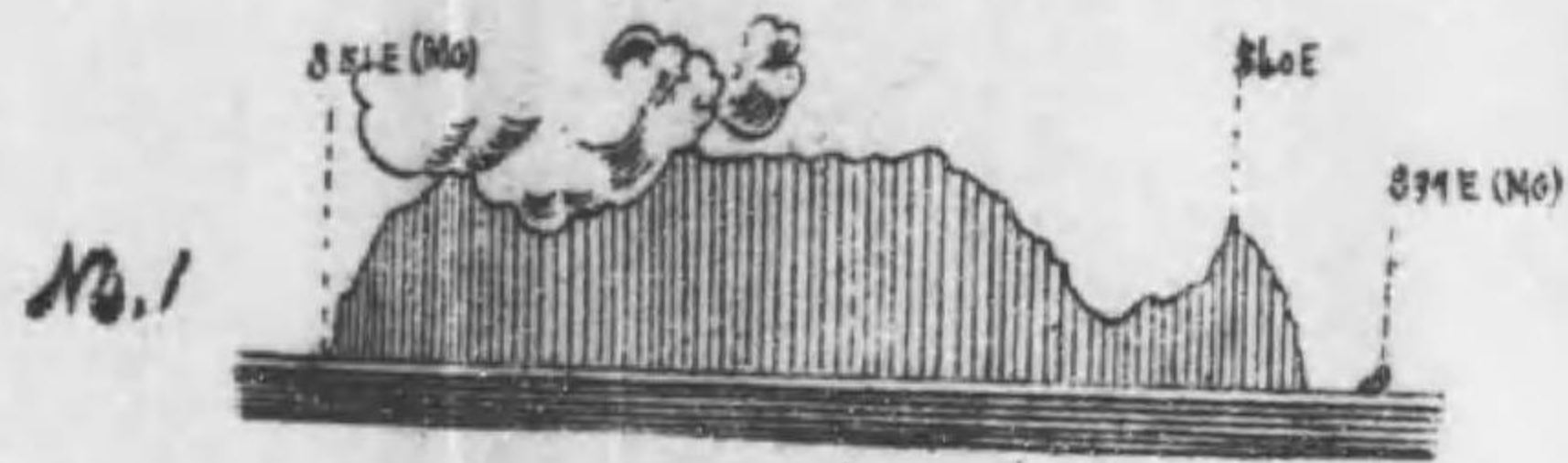
AM) 3112



TRISTAN I.




INACCESSIBLE I.



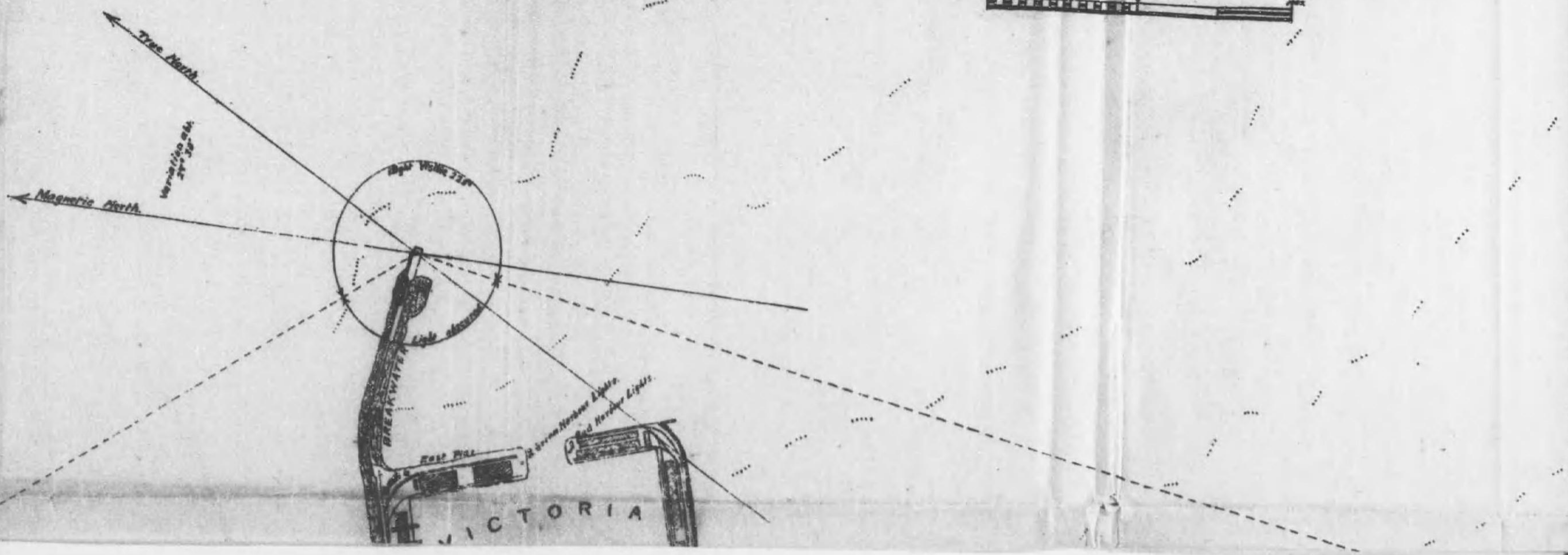
—TABLE BAY HARBOUR—

SCALE IN FEET.

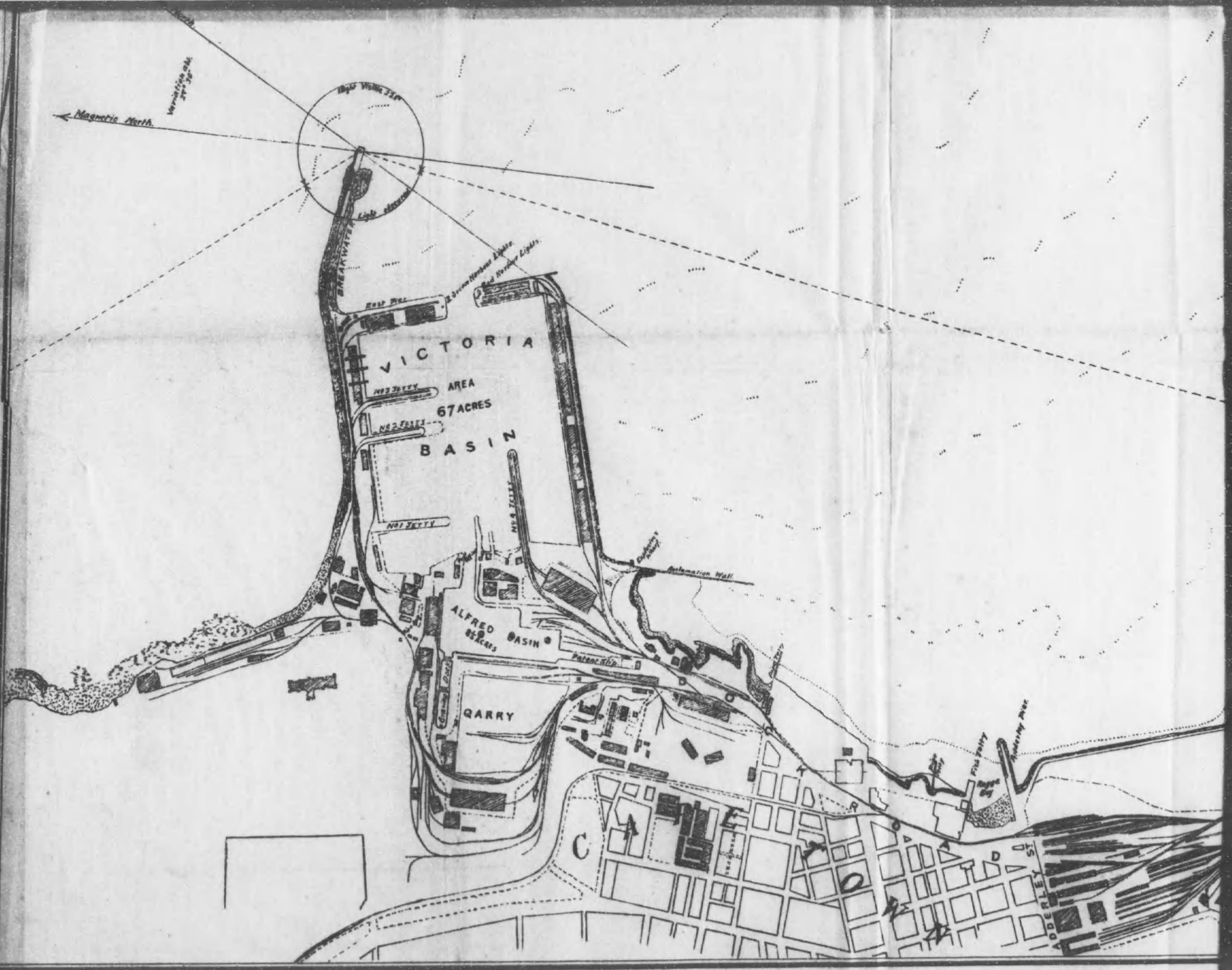


Victoria
Harbour Light

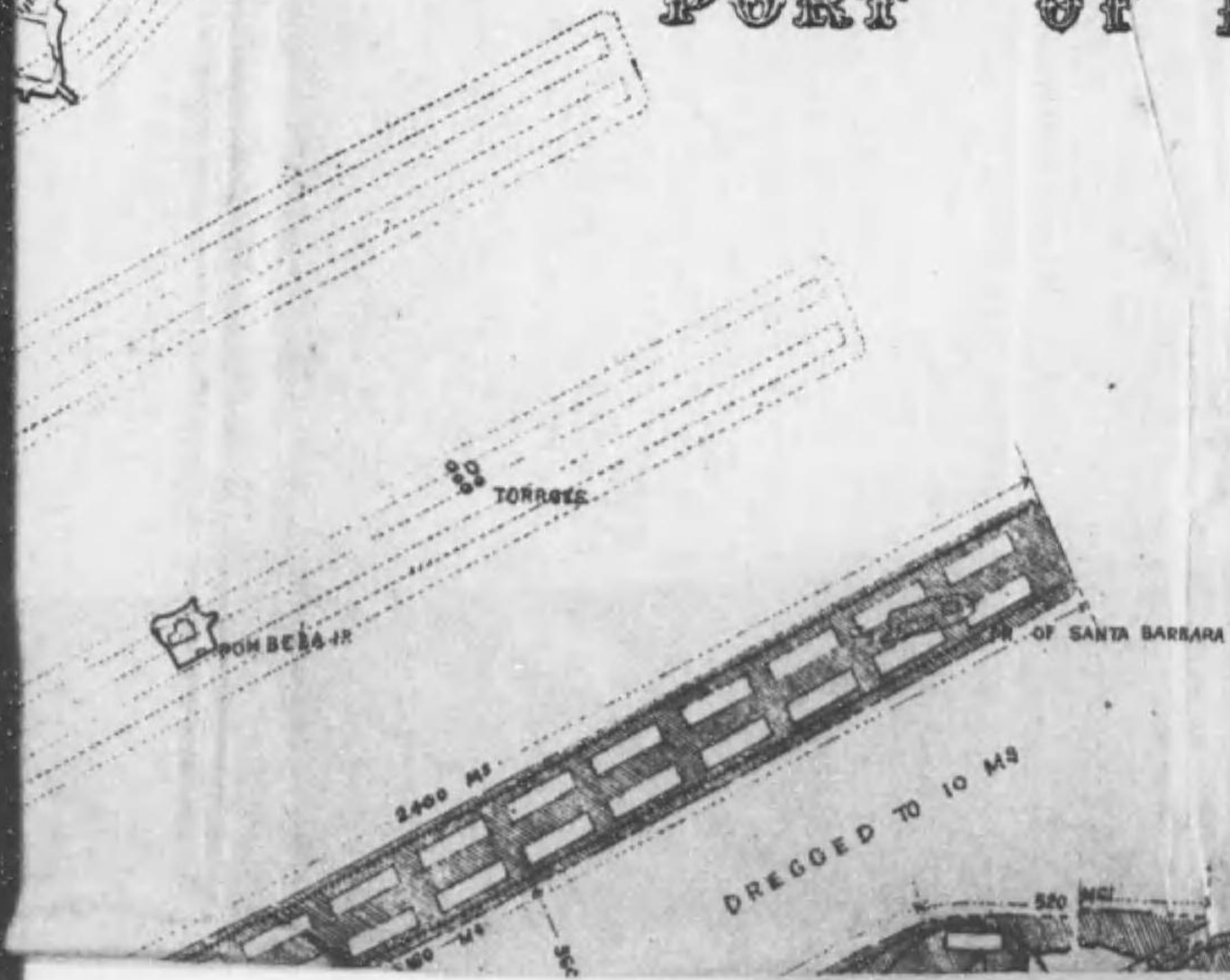
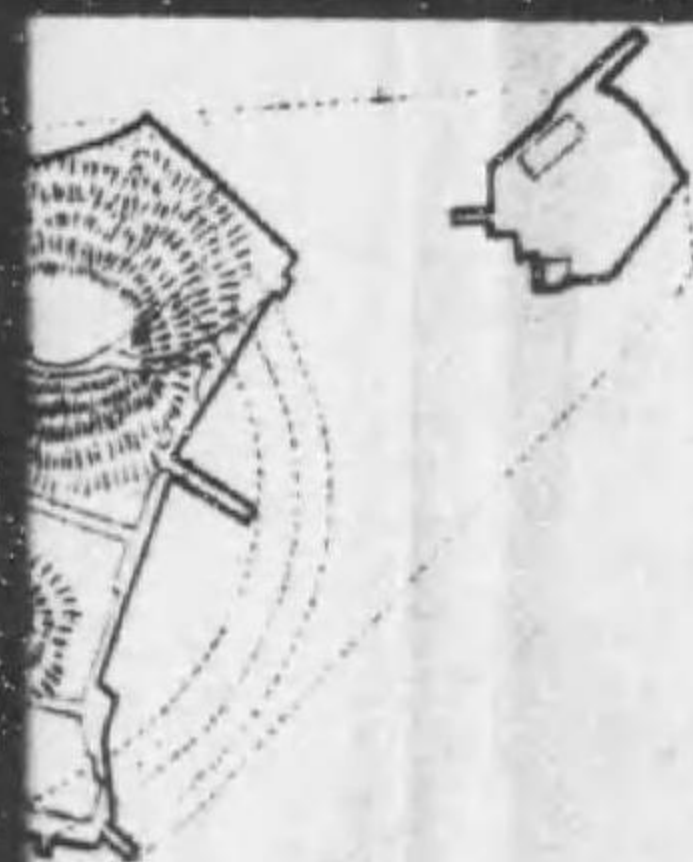
—TABLE BAY HARBOUR—

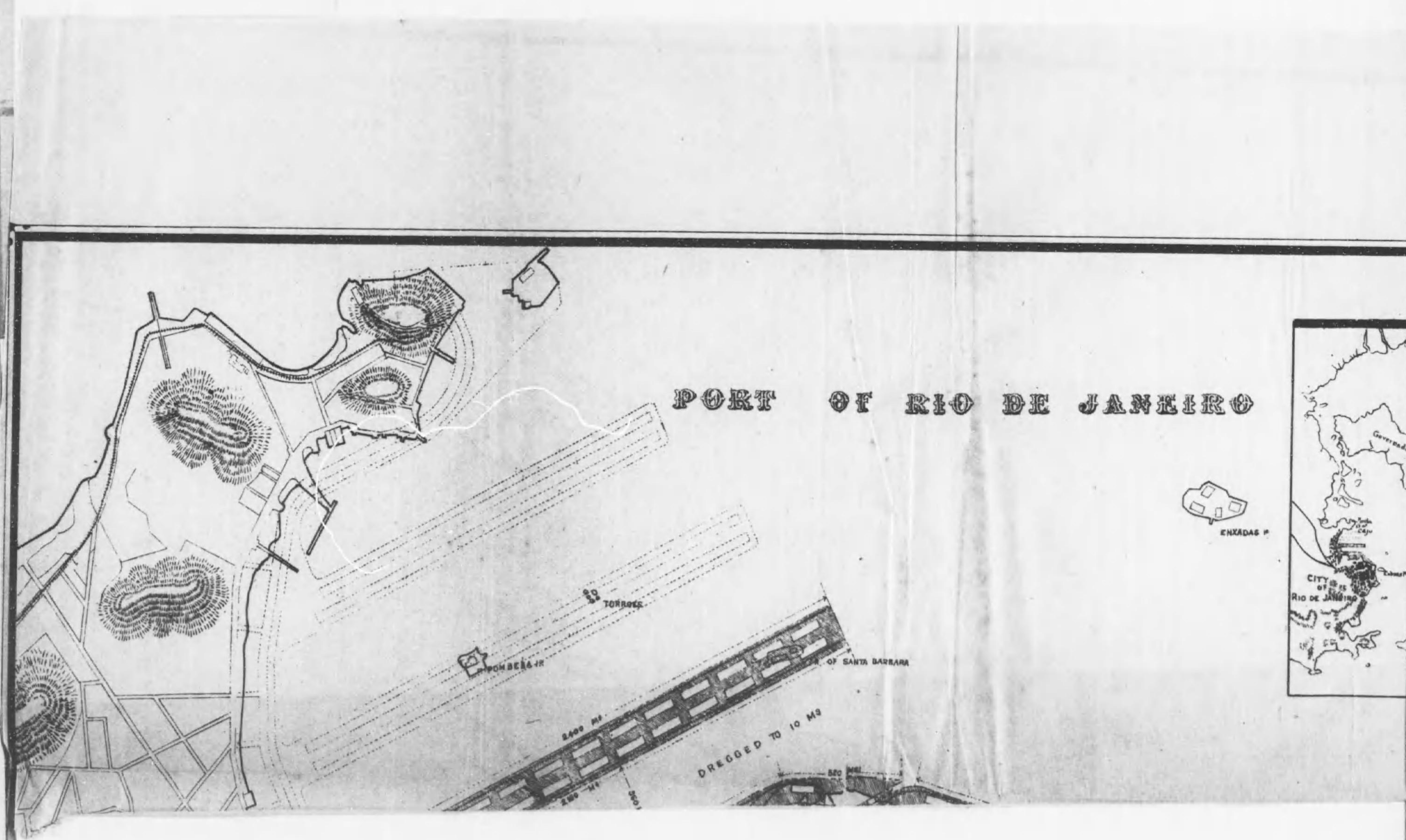






PORT OF RIO DE JANEIRO





PORT OF RIO DE JANEIRO

ENXADAS

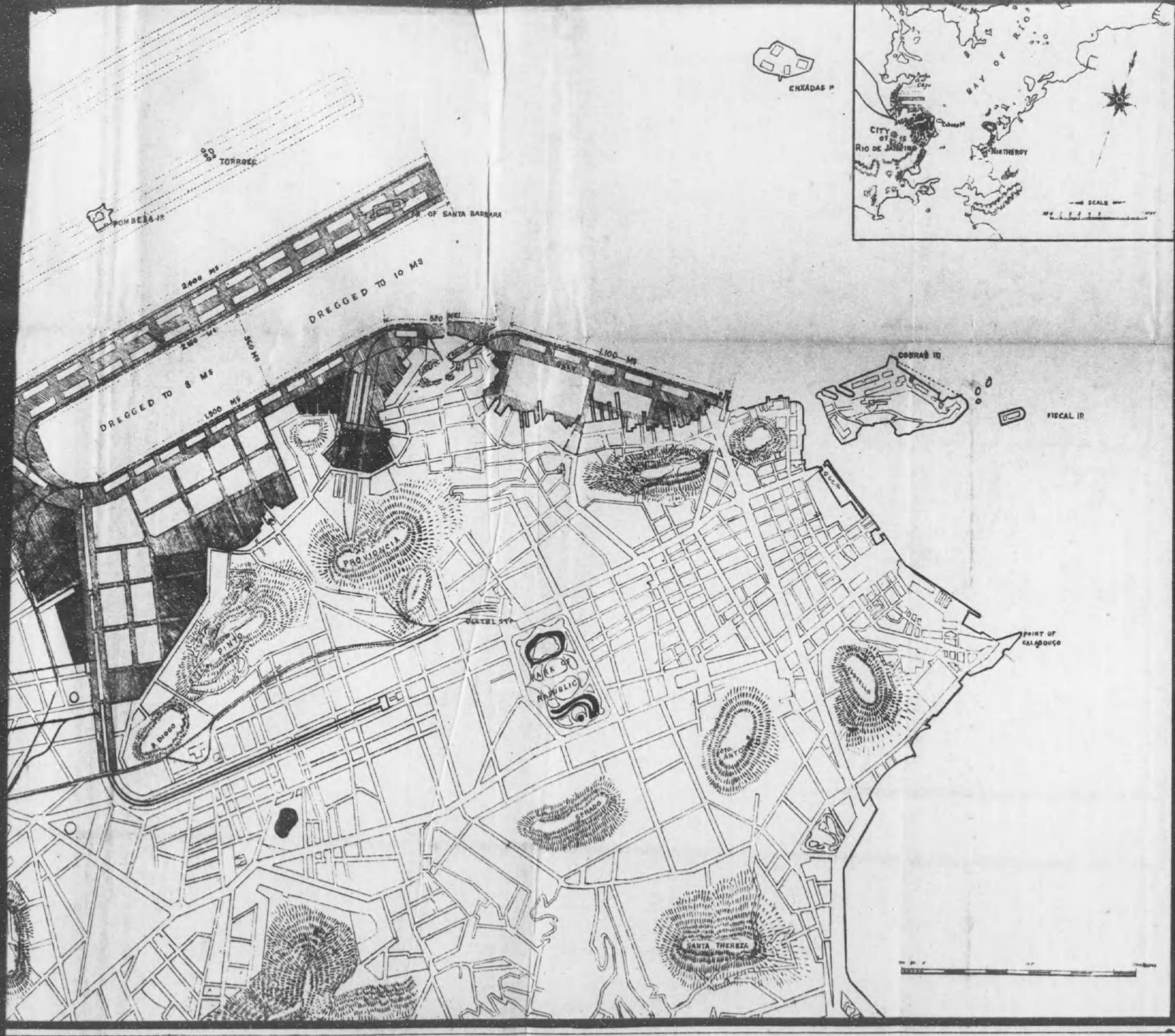
TORREES

SANTA BARBARA

OF SANTA BARBARA

DREGGED TO 10 M3





ENXADAS P



COBRAS IS

FISCAL IS

POINT OF CALABOUÇO

PROVIDENCIA

SANTA ANA

SANTA THERESA

TORROES

POM BEIA IR

OF SANTA BARRA

2400 MS

DREGGED TO 10 MS

DREGGED TO 8 MS

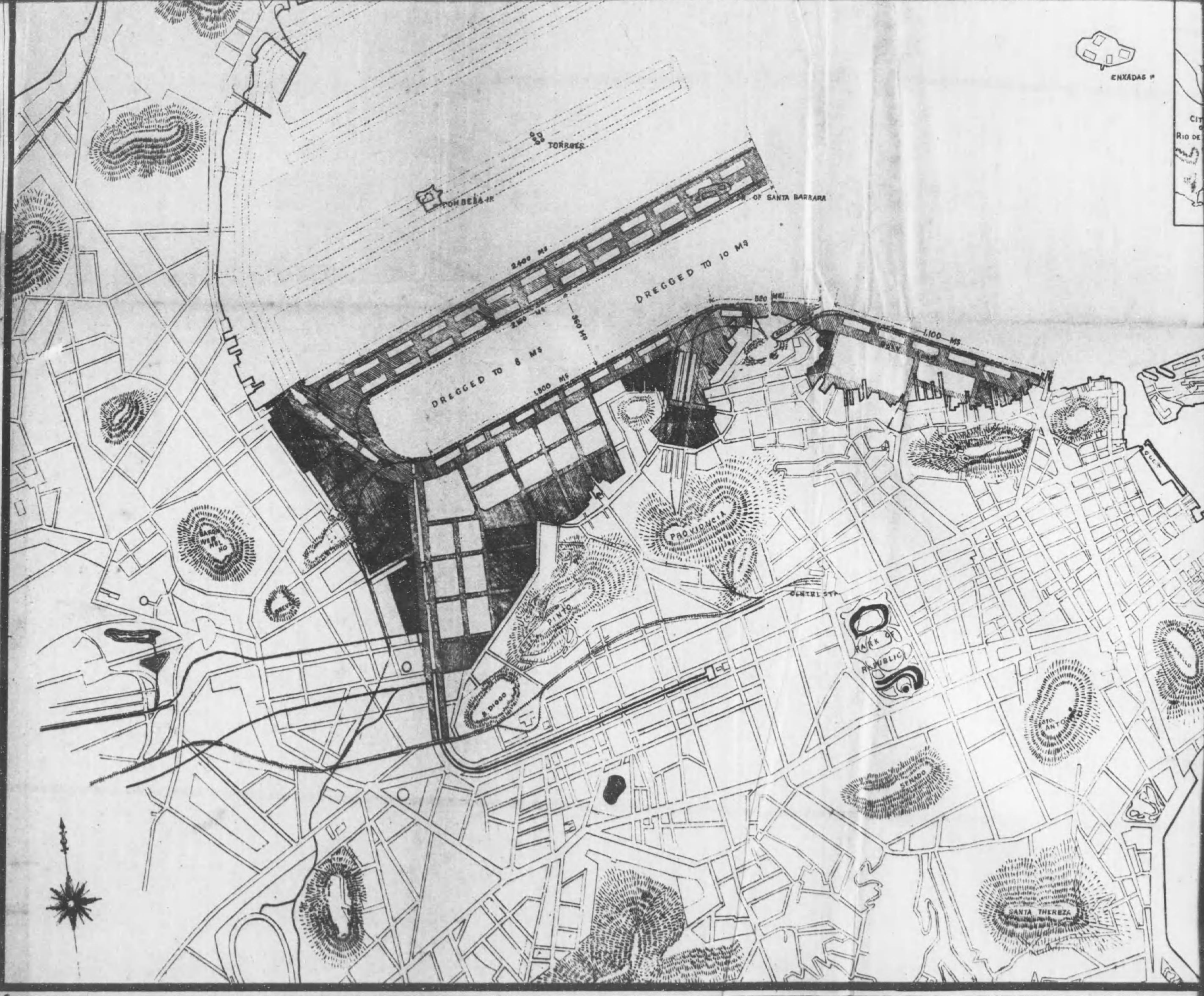
1800 MS

1100 MS





2

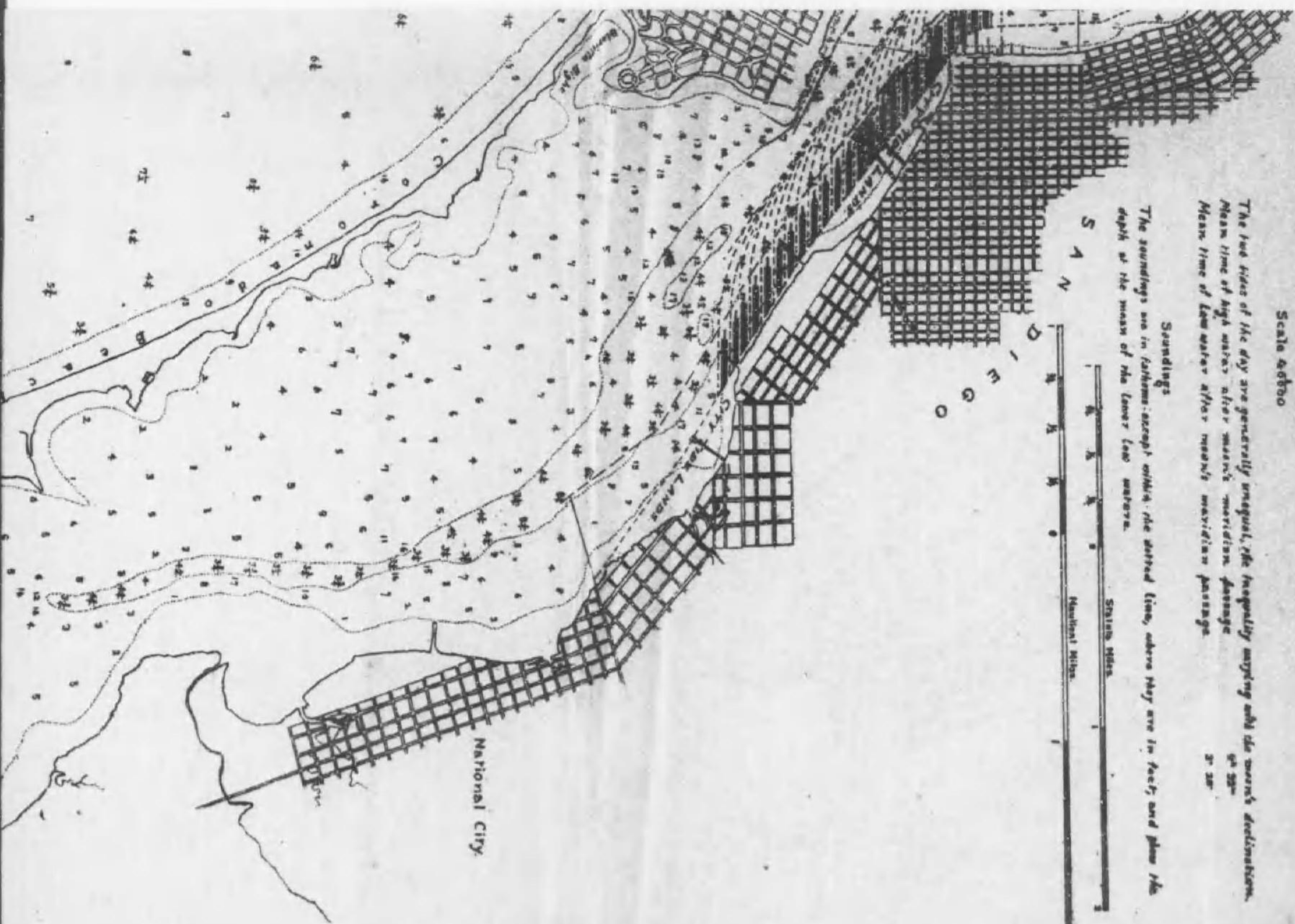


Defensive
Plan Of
Arbor Improvement
 SAN DIEGO BAY
 CALIFORNIA

Scale 4000

The *red lines* of the city are generally unequal, the *irregularity* varying with the *width's* directions.
 Mean time of high water after mean's meridian passage at 50' or 50'
 Mean time of low water after mean's meridian passage or 20'

Soundings
 The soundings are in fathoms: except where the dotted line, where they are in feet and show the depth at the mean of the lower low waters.



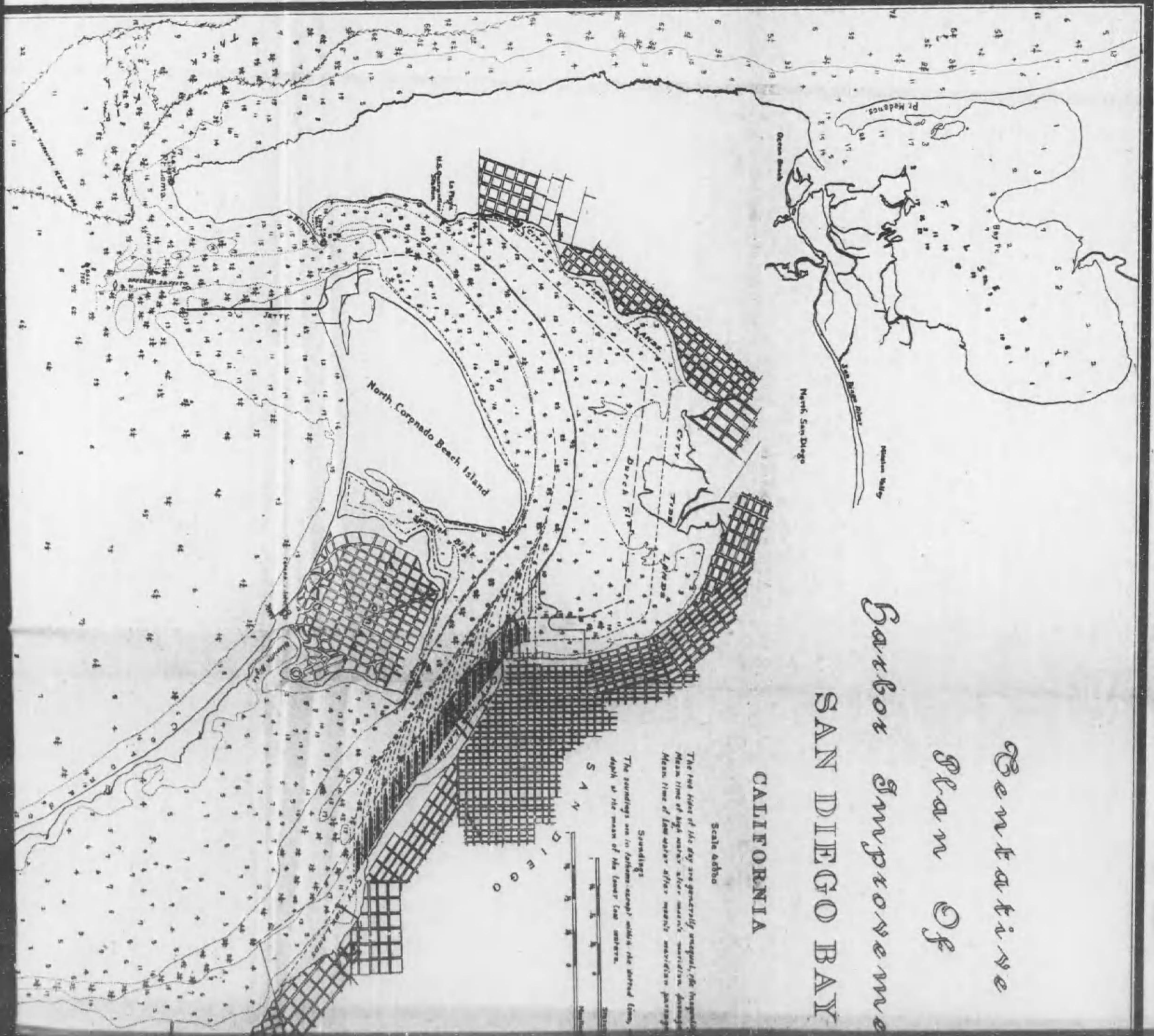
Ben Lattine
Plan Of
Barbot Improvement
SAN DIEGO BAY
CALIFORNIA

Scale 6000

The foot lines of the dry are generally unequal, the largest mean time of high water after mean's variation, being Mean time of low water after mean's variation passing

The soundings are in fathoms except where the dried line, depth is the mean of the lower low waters.

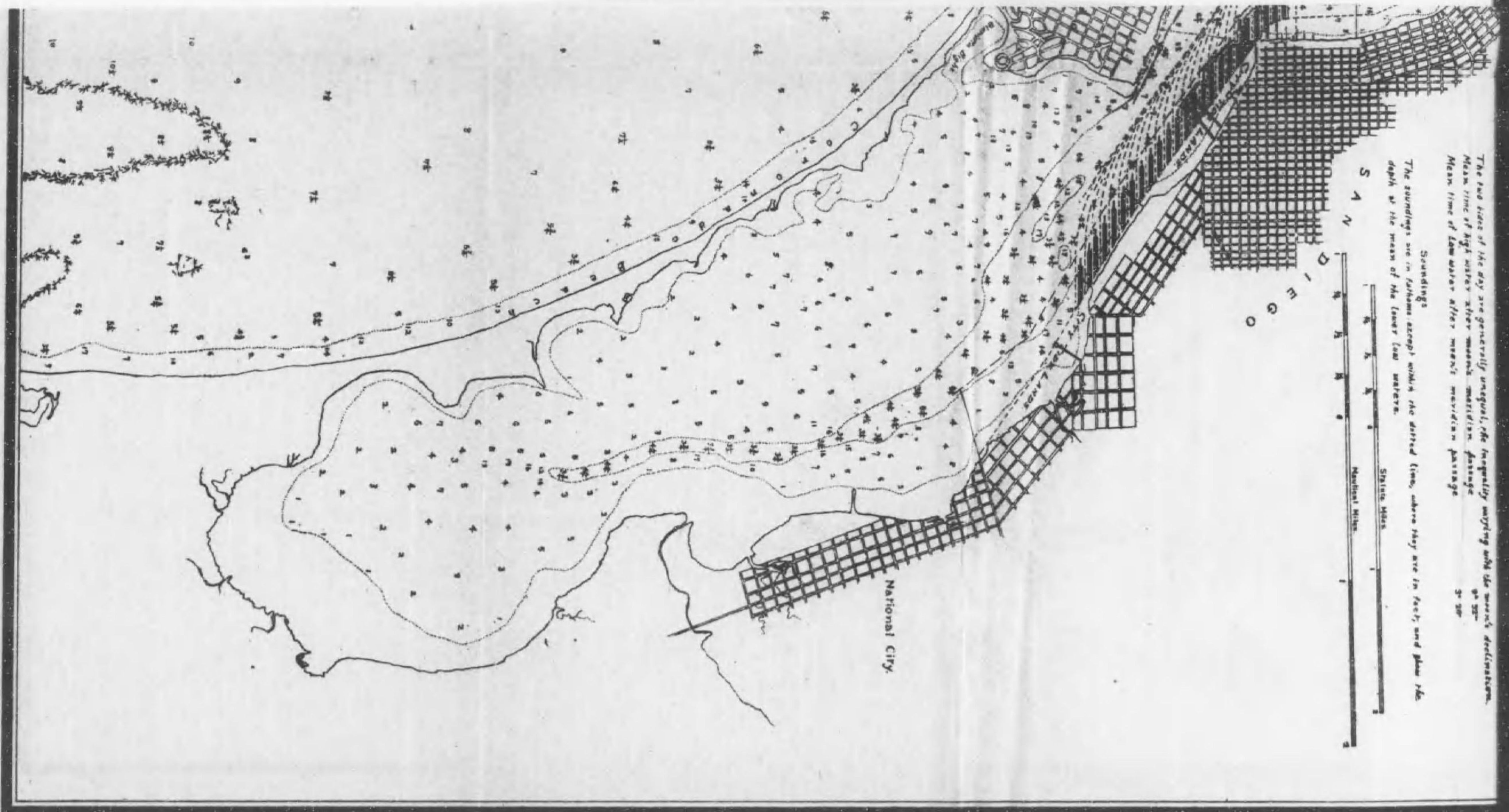
S A N D I E G O B A Y

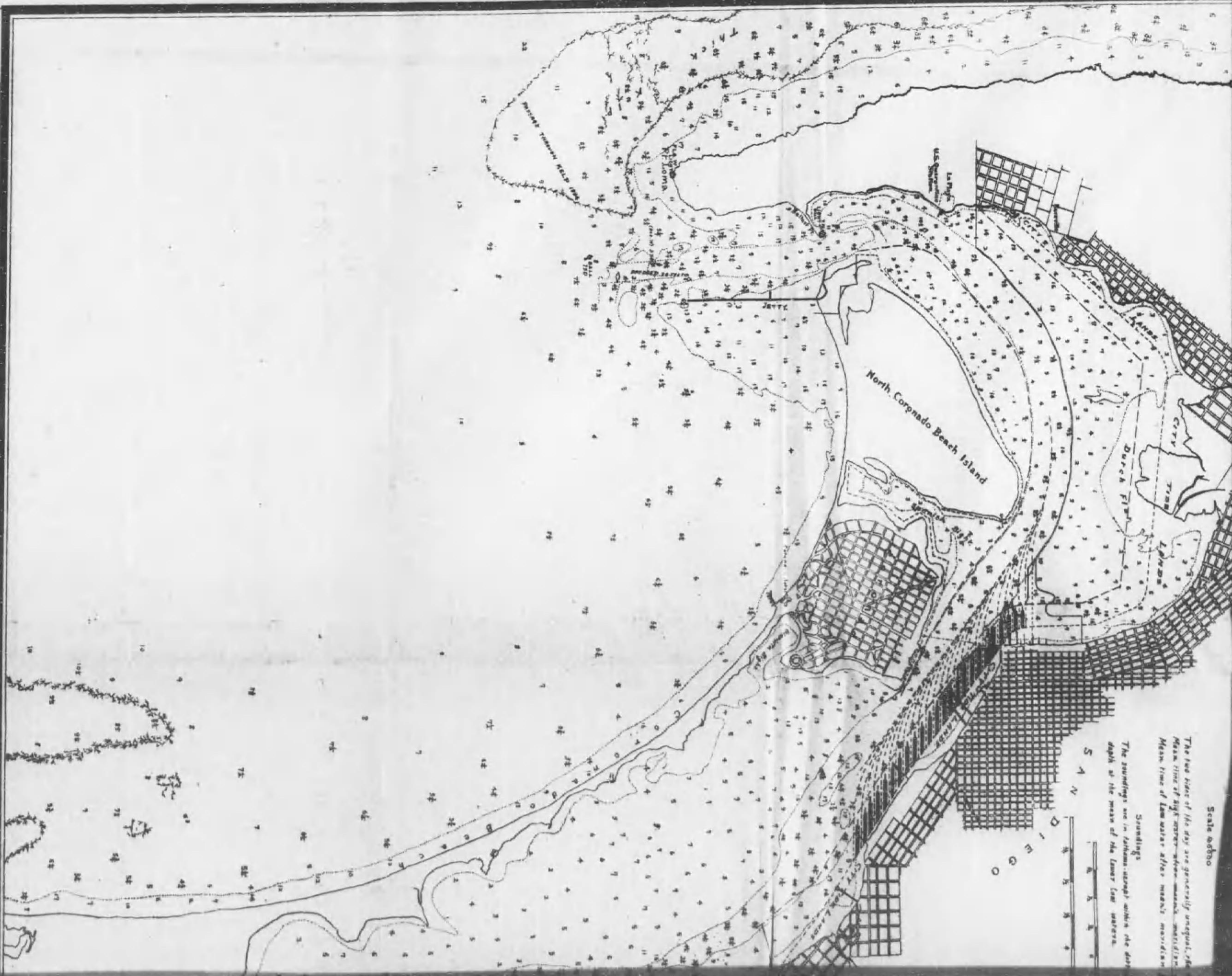


The low lands of the day are generally unequal, the inequality varying with the water's declination.
Mean time of high water after mean's meridian passage at 2 30
Mean time of low water after mean's meridian passage at 7 30

Standing
The soundings are in fathoms except where the dotted line, where they are in feet and show the
depth at the mean of the lower low waters.

S A V Spanish Miles Nautical Miles





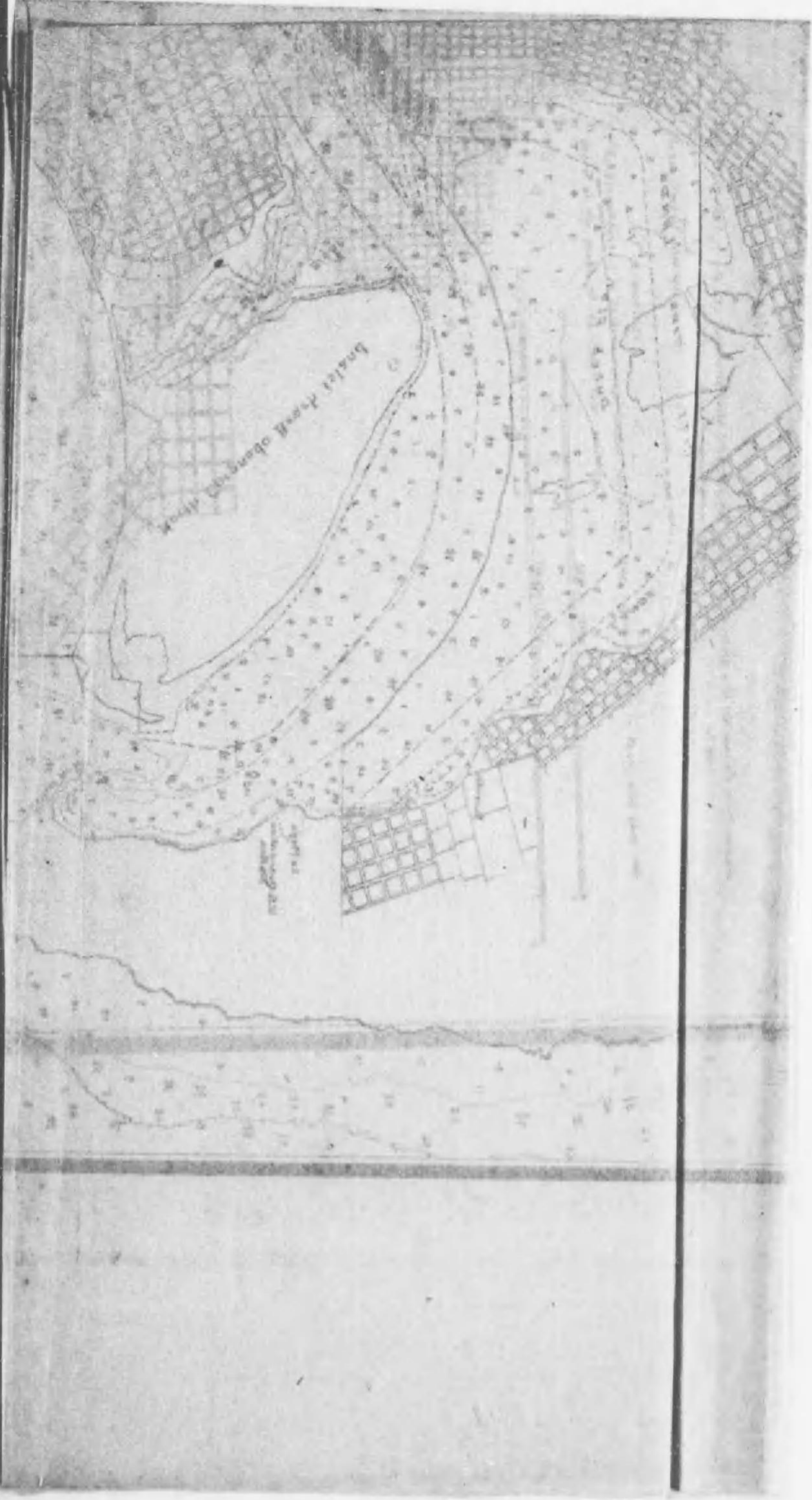
Scale 6000

The two lines of the day are generally unequal, the
 Mean line of high water—then—mean, middle
 Mean line of low water after mean's meridian

Soundings
 The soundings are in fathoms, except within the city
 depth at the mean of the lower low waters.

S A N D I E G O

Scale bar with markings for 0, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100 feet and 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 fathoms.



九月十一日 午前九時四十五分「コンバ」島ノ南側ヲ並行シテ更ニ目的地「アムボイナ」港ニ直航ノ針路ヲ取
 ル茲ニ至ルマテ天氣頗ル平靜良好ニシテ大氣乾燥シテ日光燒クカ如ク而モ軟風常ニ颯々トシテ吹來シ甚
 タ凌キ能ク驟雨等少シモナク實ニ航海最適ノ季節ト云フヘシ只晝間ト雖トモ天氣臃ケニシテ諸山淡霞ニ
 閉サレ識別困難ナルコトアリシノミ海流ハ「チモアー」及ヒ「バリ」列島ノ北側ニ於テハ絶エス沿岸ニ壓
 流セラレ漸次東進スルニ從ヒ東流ノ影響加ハリ速度優ニ一節ニ達スルヲ見タリ要スルニ海流ニ就テハ充
 分ノ注意ヲ必要トスヘク尙ホ「フラット」島ヲ除ク外ハ「ロムボク」海峡ヨリハ夜間ト雖トモ航海ニ差支ナ
 ク各島嶼共距離七、八哩ニ達スレハ眼界ニ入ルヘシ日中ノ氣温平均八十七度

九月十二日 正午位置(南緯 六度十七分 東經 百二十五度四十二分半)
 偏東ノ軟風アリ海上極メテ平穩ニシテ炎暑殊ニ強シ南西流ノ存在アリテ速度半哩ナルヲ見タリ午後三時
 南緯六度五分東經百二十五度五十六分ノ地點ニ於テ汽走ヲ止メ帆走ニ移ル右舷一杯開キトナシ北微東方
 ニ航走ス

九月十三日 正午位置(南緯 四度五十二分半 東經 百二十五度三十九分)
 偏東ノ軟微風アリ海流西方ニ向ヒ一晝夜約二十二哩ヲ見ル午後十時南緯四度三十六分東經百二十五度三
 十八分ノ地點ニ於テ總帆ヲ收メテ汽走ヲ再始シ目的港ニ直航ス

九月十五日 午前二時十二分「アムボイナ」港錨地ニ投錨ス水深三十三尋錨鎖七十五尋底質細砂
 錨地方位 棧橋端 南十八度西(磁針)
 「マンガエン」崎 南四十三度西(同)
 「ヒツバ」 南六十三度西(同)
 海流ハ當港灣ニ近接スルニ從ヒ勢力ヲ減退シテ殆ント皆無トナレリ
 全航海日數 五日十三時四十一分

全航程 七百十六哩

帆走時間 一日七時七分

同航程 八十二哩

一日航程 六十三哩〇八

汽走時間 二哩六三

一日航程 四日六時三十四分

同航程 六百三十四哩

一日航程 百四十七哩四四

汽走時間 六哩一四

第八次遠洋航海復航自「フリーマンタル」至「アムボイナ」

月日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣温	海温
八月二十三日	南度分 三三〇	東度分 二四四	不定	六	不明	不明	北微西	三	元八〇	六	七
二十四日	三二九	二四〇	北六八四	六	不明	全	南微西	二	元八〇	六	七
二十五日	三二七	二四〇	北三八四	一	北三西	二	北微西	一	元八〇	六	七
二十六日	三二六	二四〇	北二二四	一	南二六東	二	南微西	二	元八〇	六	七
二十七日	三二六	二四〇	北一八四	一	北一東	二	正西	二	元八〇	六	七
二十八日	三二五	二四〇	北一五東	一	北三五東	三	南微西	二	元八〇	六	七

「アムボイナ」港碇泊日誌

月日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣温	海温
二十九日	三二五	二四〇	北三九東	一〇	北一五東	二	南東微南	三	元八〇	六	七
三十日	三二六	二四〇	北三七東	一〇	南七四西	二	全	三	元八〇	六	七
三十一日	三二七	二四〇	北二六東	一〇	正北	二	東微南	三	元八〇	六	七
九月一日	三二七	二四〇	北二四	一〇	北七一西	二	正東	三	元八〇	六	七
二日	三二七	二四〇	北二一東	一〇	北七九東	二	東微南	三	元八〇	六	七
三日	三二七	二四〇	北六四	一〇	南六五西	二	正東	三	元八〇	六	七
四日	三二七	二四〇	北九四	一〇	南六八西	二	正東	三	元八〇	六	七
五日	三二七	二四〇	北二八東	一〇	南六八西	二	正東	三	元八〇	六	七
六日	三二七	二四〇	不定	一〇	不明	二	全	三	元八〇	六	七
七日	三二七	二四〇	全	一〇	全	二	全	三	元八〇	六	七
八日	三二七	二四〇	全	一〇	全	二	全	三	元八〇	六	七
九日	三二七	二四〇	全	一〇	全	二	全	三	元八〇	六	七
十日	三二七	二四〇	不定	一〇	不明	二	東微北	三	元八〇	六	七
十一日	三二七	二四〇	全	一〇	全	二	正東	三	元八〇	六	七
十二日	三二七	二四〇	北五二東	一〇	南四九西	二	全	三	元八〇	六	七
十三日	三二七	二四〇	北二四	一〇	北八五西	二	東微南	三	元八〇	六	七
十四日	三二七	二四〇	北六六東	一〇	北三六西	二	南東微東	三	元八〇	六	七
十五日	三二七	二四〇	不定	一〇	不明	二	全	三	元八〇	六	七

九月十五日 午前九時港吏來船シテ諸事項ヲ質シテ去レリ續イテ船長ハ當島司役所及警備隊長屯所ヲ訪問

セシニ折返シテ島司代理(島司ハ不在)及ヒ警備隊長ノ答訪アリ
學生總員ヲ以テ終日外舩ヲ拭掃シテ塗裝ス
島司夫人ヨリ果實一袋ノ寄贈ヲ受ク

九月十六日ヨリ同二十一日迄ハ學生、下級船員共ニ兩舩直員交互上陸自由散歩ヲ許可シ又時機ヲ見テ灣内ニ於テ學生ノ帆走繞走練習ヲ施行セリ他ニ記事ナシ

九月二十二日 午前五時三十分拔錨シテ石炭庫棧橋ニ繫留シ直ニ石炭搭載ヲ開始シ夕刻結了セリ全搭載高百九十噸但一噸代金「カーテイフ」炭ハ蘭貨二十義五仙積込人夫賃一噸ニ付一義五十仙「スマトラ」炭十八義七十仙積込人夫賃前同斷

在留日本人竹田銀松、中野禎次郎ノ二氏ヲ招キテ晚餐ヲ供シ在泊中ノ厚意ヲ謝セリ
九月二十三日 船長ハ島司、港務長、警備隊長其他在泊中厚意ヲ受ケシ日本人竹田、中野兩氏等ヲ告別ノ爲メ訪問セリ

九月二十四日 午前五時品川へ向ケ出港ス

「アムボイナ」港記事

當港ニハ曩ニ我カ海軍艦艇ノ兩三度寄港セシ所ニシテ其都度ノ報告ニモ詳カナルカ如ク灣内ノ水深殊ニ深ク陸岸ニ近接セサレハ錨泊ニ適セス本船ノ投錨セシ場所ハ別記ノ如ク上陸揚ヲ距ル北西方二鐘ノ所ニシテ水深三十三尋底質細砂泥ナリシカ碇泊中別ニ危懼ヲ醸スカ如キコトモアラサリ然レトモ降雨期ニ於テ錨ノ來襲多キ時ハ到底安全ヲ期スヘカラス何レニシテモ好錨地ニハアラサルナリ氣候ハ概シテ良好ナルヘク本船碇泊中ノ如キハ最トモ好季節ニシテ雨ナク颯ナク殊ニ平靜ニシテ暑氣又甚シカラス常ニ海陸軟風ノ颯

々トシテ訪ル、アリ何等熱帶地ノ苦惱ヲ訴フルモノナカリキ夜分ノ如キハ清冷ニシテ心地爽カナリキ五、六、七月ハ降雨期ニシテ他ハ雨量少シ最モ暑熱強キハ正月ニシテ而モ九十七度ヲ超エスト云フ人口全島ニテ一萬二千人餘ニシテ内日本人約五十名、支那人四百名餘、蘭人百人餘、亞刺比亞人三百餘人他ハ皆ナ馬來種トス

物産ハ「チョージ」製作品、「ランマール」(硝子原料、人造護謨原料)、藤、鹿ノ皮、高瀬貝等トス日本品ノ輸入セラル、モノハ陶器、硝子製作品、「タオル」、「メリヤスシヤツ」、蝠蝠傘トス日本品ヲノミ賣買スル店舗五軒アリテ内支那人四舖日本人一舖トス日本人ハ皆ナ勞働者ニシテ成効者ヲ見ス

一ヶ月二回瓜哇方面ヨリ和蘭汽船寄港スルモノト他ニ四十日毎ニ一回「マニラ」ヨリ來航スル獨逸船便アルノミ各二千噸内外ノ船舶ヲ以テス
最近ニ無線電信局ヲ設置シテ公衆ノ要求ニ應ジツ、アリ「クーパーン」ニ發送シテ其上海底電線ニヨルヲ得ヘシ

石炭ハ官用炭ニシテ普通船舶ニハ供給セス現ニ約八千噸ヲ貯藏セリ本船ハ特ニ官廳ノ認許ヲ經テ之レヲ搭載セシカ「カーチーフ」炭ハ一噸蘭貨二十「ギルダース」五「セント」スマトラ「炭ハ一噸十八「ギルダース」七十五「セント」ニシテ搭載高百九十噸午前八時半開始シテ午後四時半之レヲ終了セリ
淡水ハ供給アリト雖トモ飲用ニハ供セサルヲ宜シトス別ニ料金ヲ徴セス
當地ノ生糧品現價左ノ如シ

品名	數量	價格	品名	數量	價格
小鰹	一	三仙	尾鰹	一	一七仙
尾鰹	一	三五仙	尾鰹	一	五〇七五仙

瓜	鶏	牛	野
哇	米	卵	肉
	百	一	一
			キ
斤	個	口	籠
九・〇〇	五仙	一・〇〇	一・五〇
仙	仙	仙	仙
麥	鶏	豆	
		ナ	
粉		類	
五	一	一	一
十			
斤	羽	本	斤
			一八八
三・七五	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇
仙	仙	仙	仙

「アムボイナ」港出帆ノ現狀

職員 十二名
 學生 百二十三名
 備人 四十三名
 計 百七十八名

吃 前部 十五呎六吋
 吃 後部 十九呎六吋
 吃 平均 十七呎六吋
 排水 差 四呎〇吋
 排水 量 三千五百五噸
 排水 二呎十吋
 排水 四十七噸
 飲料 「メタセントー」ノ高サ 四十七噸
 但以下壓艙水函ニ清水ヲ充ダシタルヲ以テ之ヲ補フコトヲ得
 「フオアービークタング」 七七・〇

第一	バラストタンク	一五・三
第二	同	一八・五
第三	エンジタンク	五〇・三
第四	ボイラータンク	三五・七
第一	アフターデーブタンク	一四・八
第二	同	七・四
第三	アフタービークタング	一七・八
石炭	石炭庫内	一九〇
糧食	補充石炭庫内	七〇
		計二百六十噸
		三十三噸
		計四百三十噸八

自蘭領「アムボイナ」港至品川灣

九月二十四日 出港
 午前六時三分解纜拔錨ノ上汽走出港ス天候良好ニシテ無風ナリ同七時三十分「アムボイナ」灣口ヲ出テ同八時六分「ワカシユ」崎ヲ距離一哩ニシテ並航シ「マニバ」海峽ニ直航セリ午後一時二十五分「スアング」島ヲ距離三哩半ヲ以テ航過シ同海峽ヲ出テ、「ピット」水道ニ入り更ニ「マラツカ」水道ニ直航セリ午後二時至ツテ偏南ノ軟風アリ海流ノ影響ナシ氣温八十度ニシテ暑氣殊ニ強カリキ
 九月二十五日 正午位置 (南緯 度四十四分半) (東經 度二十六度三十分)
 午前三時四十五分「リサマチュラ」島ノ東北東距離十八哩ニシテ並航シ「マラツカ」水道ニ入レリ午後六時東經百二十六度二十三分ニ於テ赤道ヲ航過ス炎暑殊ニ強クシテ温度八十四度タリ偏南南西ノ軟風アリ海

流殆ントナシト雖トモ當水道ニ入リテヨリ偏南流ニ會セルモノ、如ク速力四分ノ一湮ニ過キス

九月二十六日 正午位置 (北緯 百二十七度五十六分 東經 百二十七度二十六分)
午前五時二十五分「メーヨー」島ノ東微南方距離十五湮ニシテ並航シ更ニ北北東(真針路)ニ轉針シテ太平洋面ニ出テントス然ルニ恰モ同島航過後逐次東南東流速力一湮ナルニ會シ船ノ壓流稍々急ナルヲ見タリ夕刻全ク「マラツカ」水道ヲ通航シテ太平洋面ニ出テヌ

九月二十七日 正午位置 (北緯 百二十八度四十分 東經 百二十八度四十分)
偏南西ノ至輕風アルノミニシテ炎暑殊ニ烈シク日中ハ八十九度ニ達セリ海流ハ同様速力一湮餘ニシテ東方ニ向フ

午後零時三十分ヨリ偏針儀ヲ用ヒテ後部羅針盤矯正ヲ施行シ同二時四十五分ノレヲ結了セリ
其結果左ノ如シ

矯正セル位置 北緯四十二度四十二分 東經百二十八度四十二分 磁氣赤道ヲ距ル南方百五十湮

船首羅針 北ニ於ケル指力 一九・六〇

同 南ニ於ケル指力 二一・九〇

右ノ平均 二〇・七五ニヨリ平周差Bヲ矯正ス

船首羅針盤東ニ於ケル指力 二〇・三五

同 西ニ於ケル指力 一九・〇〇

右ノ平均 一九・六八ニヨリ半周差Cヲ矯正ス

兩面ノ平均ノ和ヲ平均セシ 二〇・二一ニヨリ象限差Dヲ矯正ス

更ニ反復シテ矯正ヲ行ヒシ結果 二〇・五八

船首羅針 南ノ指力 二〇・五八

同 北ノ指力 二〇・二〇

右ノ平均 二〇・三九

船首羅針 東ニ於ケル指力 二〇・二一

同 西ニ於ケル指力 二〇・二一

右ノ平均 二〇・二一

之レヲ以テ各點ノ指力殆ント等シクナリシヲ認メシモ更ニ矯正ヲ反復スレハ充分ナランモ漸次展帆時刻切迫ノ爲メ之レニテ止ム最後ニ船首ヲ北東及南西ニ向ケテ指力ヲ檢セシニ大差ナク象限差Eノ量少ナキヲ知ル

午後三時三十分總員ヲ以テ諸帆ヲ展シ汽走ヲ止ム左舷一杯開キトナシ北東微北(真針路)ニ向ヘリ偏西北西ノ至輕風アルノミ

本日第一第二壓艙水函ニ海水ヲ充實シテ「メタセンター」ノ高サヲ三呎三吋トナセリ

九月三十日 正午位置 (北緯 七十七度五十分 東經 百三十一度二十分)

展帆以來南西信風アリシモ力強盛ナラス三乃至四ニシテ天氣快晴平穩ナリ驟雨驟等ヲ見サリシカ只本日前三時突如トシテ沃亂雲ニ電光ヲ伴フテ強盛ナル驟雨ノ北西方ヨリ來襲スルニ會セシノミ一時轉針シテ避航セシカ後風向復舊シテ舊針路東微北(真針路)ニ航走ス「マラツカ」水道ヲ出テシ後一日間ハ偏北東ノ海流速力ヲ節ノ存在ヲ見シモ漸次減退シ本日ハ更ニ速力ヲ節ナル南東流アリ

十月一日 正午位置 (北緯 九十九度四分 東經 百三十一度四分)

偏西ノ和風アリ天氣良好ナレトモ漸次颶風流行區域ニ近接セシヲ以テ船内ヲ警戒セリ午後二時三十分北緯九度十五分東經百三十一度六分ノ地點ニ於テ帆走ヲ止メテ汽走ニ移レリ夕刻ヨリ沃雲徘徊ス海流存在セス

十月五日 正午位置 (北緯 十九度十六分半 東經 百三十四度二十八分)

汽走開始後折々驟雨ノ通過アリシモ天候良好ニシテ海上頗ル平穩ナリキ概シテ北西ノ軟風流行シ且ツ速力半節ナル偏北東海流アリテ航程ヲ利セリ船内蒸シ暑ク凌キ難シ

前夜來銚子海岸局到達圈内ニ入りシヲ以テ本校ニ宛テ四日午後八時ノ船位及其他ノ要項ヲ打電セリ

本日午後二時北緯十九度半東經百三十四度半ノ地點ニ於テ汽走ヲ止メテ總帆ヲ掛ケ朝來吹來セシ偏東軟風ヲ右舷真横ニ受ケテ北上セリ驟雨時々至ル

十月八日 正午位置 (北緯 二十三度二十七分 東經 百三十三度五十二分半)

帆走ニ移リシ以來北東乃至東方ノ信風アリテ平均北微西(真針路)ニ速力三漚乃至五漚ヲ以テ帆走スルコトヲ得タリ天候概シテ快晴ニシテ變兆ナク時ニ長浪ノ到ルト雖トモ氣壓ノ變動ヲ見ス平穩ニ經過スル事ヲ得タリ殊ニ無線電報ハ時々通報セラレテ乘員ノ意氣益々昂レリ海流ハ多ク北流シ速力平均四分ノ一節タリキ

十月十日 正午位置 (北緯 二十五度四十七分半 東經 百三十二度三十九分)

風位概ネ偏北東ニシテ漸ク北北西方ニ航走セシニ過キサリシカ本日午後五時北緯二十五度五十五分東經百三十二度三十五分ノ地點ニ於テ汽走ニ移リ神子元燈臺ニ向ケ直航ス天候稍々不穩ノ兆アリ

十月十四日 正午位置 (北緯 三十二度三十一分 東經 百三十六度三十四分) ヨリ十六日館山入港迄

汽走ニ移リテ以來北東ノ和風連吹シテ波浪アリ進航充分ナラス且ツ颶風ニ對スル警報再三至ルヲ以テ荒天準備ヲ施セシニ終ニ其來襲ニ遭遇セサリシモ天候常ニ險惡ニシテ風浪治ラス船體ノ掀翻セラル、コト甚シク速力又大ニ減少セラレヌ然レトモ氣壓ノ變調ヲ起サス天氣濕潤ニシテ鬱陶シ北東信風季ナルヲ以テ日本海流ノ影響殆ントナク流行風ニヨリ起リシ波浪ノ爲メニ多クハ南西方ニ偏壓セラレタリ十四日夜分ニ及ヒ天候益々險惡トナリ風位依然トシテ只力ヲ加フルノミ而モ雨ヲ加ヘ來リ波浪著シク荒

レ來リシヲ以テ更ニ荒天準備ニ就ケリ夜半稍々治マリシモ天明前後ヨリ風浪殊ニ高マリ翌十五日(正午位置 北緯 二十三度四十八分 東經 百三十七度四十分)ニ至リテモ同様ノ天候ニシテ勉メテ入港ヲ急キ全速力ヲ以テセルモ逆風波浪ノ爲メ僅カニ三漚半ヲ得シノミ

前日來ノ警報中中心示度二十九時一三ヲ有スル颶風我右舷後方三百漚ノ地點ニ發生セシモノアリ漸次北東ニ進行スルヲシテモ晴雨計ニ何等著シキ影響ヲ見サリシヲ以テ或ハ當季節ニ於ケル北東颶ナルヤヲ疑ヒシカ本日午前六時ノ警報ニヨリ右ノ中心漸次接近セルヲ表示シ午後ニ至リテ氣壓ノ漸ク遞降ヲ始ムルニ遇ヒ從テ風浪益々強烈トナリ愈々來襲ヲ豫期セリ蓋シ船位ハ颶風ノ左半圓ニ位スルヲ以テ一ツニ風位ノ變轉ト晴雨計ノ上昇ヲ待テリ正午ヨリ神子元燈臺ニ轉針シテ直航ス日没ノ頃左舷前方北微西方ニ一帯ノ連山ヲ認メタリ蓋シ御前崎附近ノ陸岸タリ稍々力ヲ失ヘルモ風浪尙ホ治ラス

十六日午前一時船首ニ神子元島燈光ヲ認メ同四時五十三分ノレヲ距離四漚ニシテ並航シ乳ヶ崎ニ轉針セリ前日來遞降中ノ晴雨計本朝五時ニ至リテ二十九時二九ヲ以テ停止シテ上昇ヲ開始セリ同時ニ警報ハ我カ右舷方ニアリテ低氣壓ノ漸次北東北ニ去ルヲ以テスルアリ旁々天候ノ恢復ヲ待チシモ風向多ク轉スル事ナク風威益々強烈ニ吹來シテ航進頗ル意ノ如クナラサリキ午前九時四十八分大島乳ヶ崎ヲ並航シテヨリ漸次風浪治マリ館山ニ近接スルニ從ヒ全ク平穩トナリ午後三時二十八分同港ニ拔錨ス水深九尋錨鎖六十尋

錨地方位 城山 南三十八度東

富山 北二十二度東

信號竿 南七十八度東

十月十八日 午前四時館山港出帆ノ上同午前十一時五分品川灣ニ歸着ス錨鎖三十五尋水深三尋四分ノ三

錨地方位 池上本門寺 南八十五度西

「アムボイナ」館山間
 第二臺場燈臺 北二十五度西
 第一臺場中央 北十一度西

航海日數 二十二日九時六分
 航程 二千六百十六哩

帆走時間 九日一時五十七分

同日航程 七百二十五哩

一時間速力 七十九哩八四

汽走時間 十三日七時九分

同日航程 千八百九十一哩

一時間速力 百四十二哩一八

館山港ヨリ品川灣ニ至ル
 五哩九二
 三十八哩

全航海總計表

全航海日數 三百四十日四時二十分
 全航程 三萬六千三百七十七哩

內

帆走日數 三百七十日十七時三十六分
 同航程 三萬一千五百五十七哩
 一日平均航程 百二哩五五
 一時間平均速力 四哩二七
 汽走日數 三十二日九時四十四分
 同航程 四千八百二十哩
 一日平均航程 百四十哩九二
 一時間平均速力 五哩八七
 昨年品川灣ヲ出テ同年歸着迄ノ總日數四百七十一日
 以上

第八次遠洋航海自「アンボイナ」至品川

月日	緯度	經度	針路	航程	海流向	潮速	風向	風速	晴雨計	氣溫	海溫
九月二十四日	南度分 三三七	東度分 二七〇	不定	豐	不明	不明	南	一	一	三	六
二十五日	北 〇四半	二七〇	全	全	全	西微北	一	一	一	三	六
二十六日	北 一六	二七〇	北一一東	全	南二四東	南々西	一	一	一	三	六
二十七日	北 三〇	二七〇	北三一東	全	北八五東	西南西	一	一	一	三	六
二十八日	北 四七半	二七〇	北三四東	全	北五〇東	西南西	一	一	一	三	六
二十九日	北 六五	二七〇	北一七東	全	北六二東	西南微南	一	一	一	三	六

十月三十日	十月二十九日	十月二十八日	十月二十七日	十月二十六日	十月二十五日	十月二十四日	十月二十三日	十月二十二日	十月二十一日	十月二十日	十月十九日	十月十八日	十月十七日	十月十六日	十月十五日	十月十四日	十月十三日	十月十二日	十月十一日	十月十日	十月九日	十月八日	十月七日	十月六日	十月五日	十月四日	十月三日	十月二日	十月一日				
七・五半	九・七〇	一・一〇	一・四〇	一・六五半	一・九一六半	二・一七二	二・四二八	二・六八四	二・九四〇	三・一九六	三・四五二	三・九〇八	四・三六四	四・八二〇	五・二七六	五・七三二	六・一八八	六・六四四	七・一〇〇	七・五五六	八・〇一二	八・四六八	八・九二四	九・三八〇	九・八三六	一〇・二九二	一〇・七四八	一一・二〇四	一一・六六〇				
北三四東	北三〇東	北一七東	北二〇東	北二一東	北一五東	北一三西	北一〇西	北二西	北二七西	北二四西	北一六東	北三二東	北二五東	北三三東	北三六東	北三三東	北二五東	北二二東	北一六東	北二四西	北二七西	北二四西	北一〇西	北一三西	北一五東	北二一東	北二〇東	北一七東	北三〇東	北三四東			
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全			
不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
南西	南西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西		
二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三		
元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	元六	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八

一九六

大正二年十二月廿六日印刷
大正二年十二月廿九日發行

發行者 商船學校

印刷者 板岡賀太次

印刷所 明治印刷合資會社

東京市京橋區南水谷町白魚河岸四十三號地

東京市京橋區南水谷町白魚河岸四十三號地

大正
二十
六年
六月
廿四
日

發行所
東京
市
丸の内
區
丸の内
三丁目
一番地

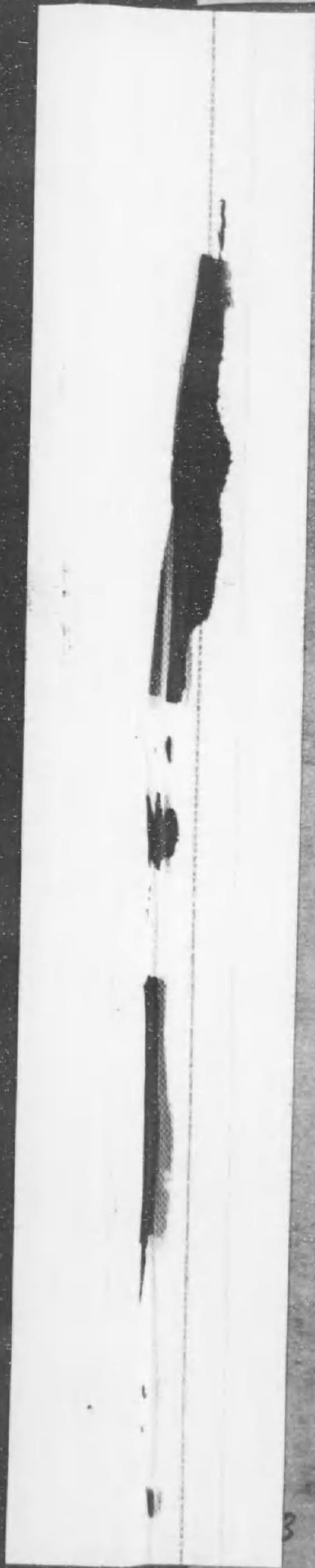
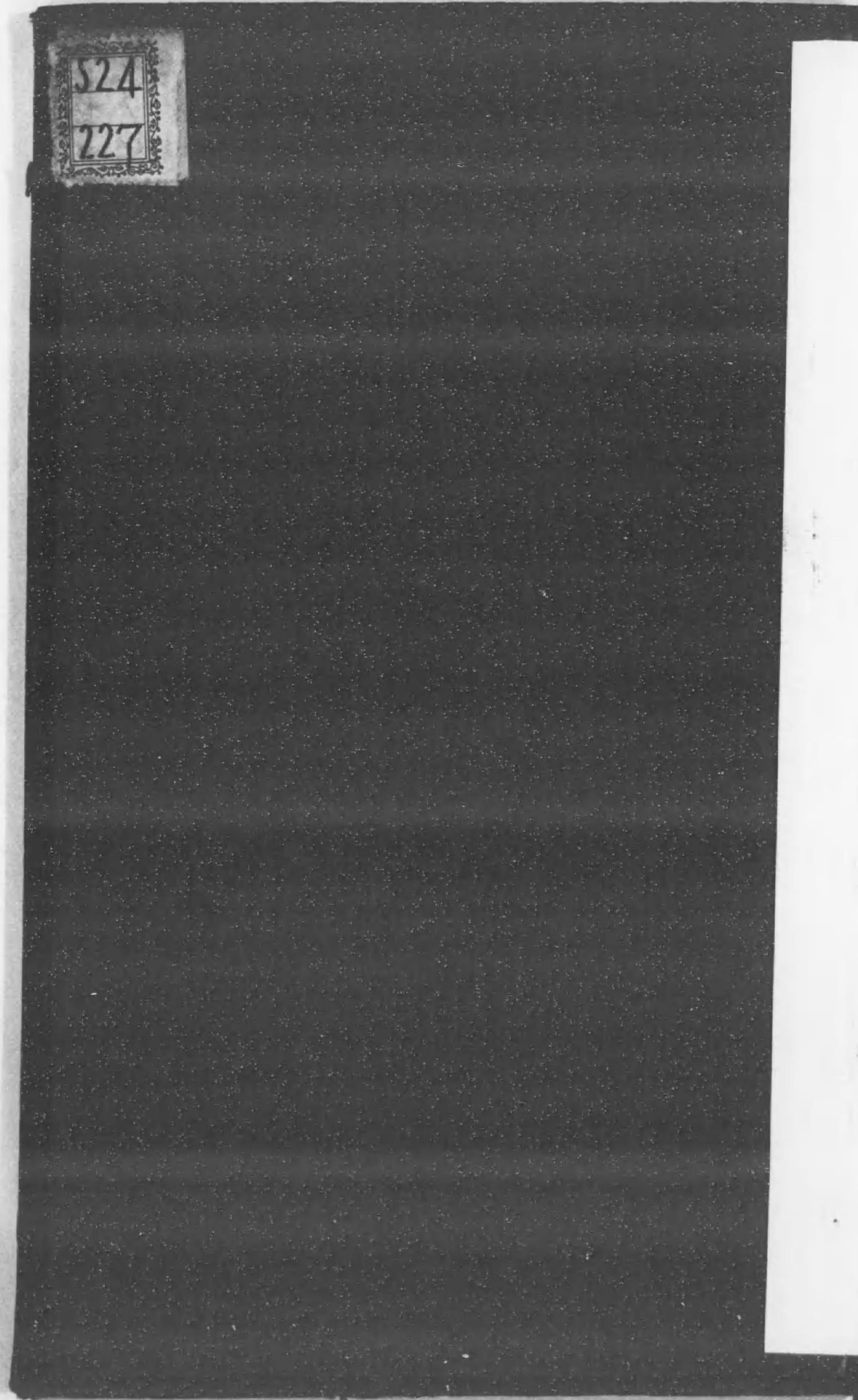
印刷所
東京
市
丸の内
區
丸の内
三丁目
一番地

印刷部
東京
市
丸の内
區
丸の内
三丁目
一番地

408
73

524

227



終

